

「子どもたちを真ん中においたこれからの学校づくり」アンケート結果

(令和5年1月実施)

アンケート対象児童生徒・園児数 9,273人

(小学校：5,053人 中学校：2,725人 園：1,495人)

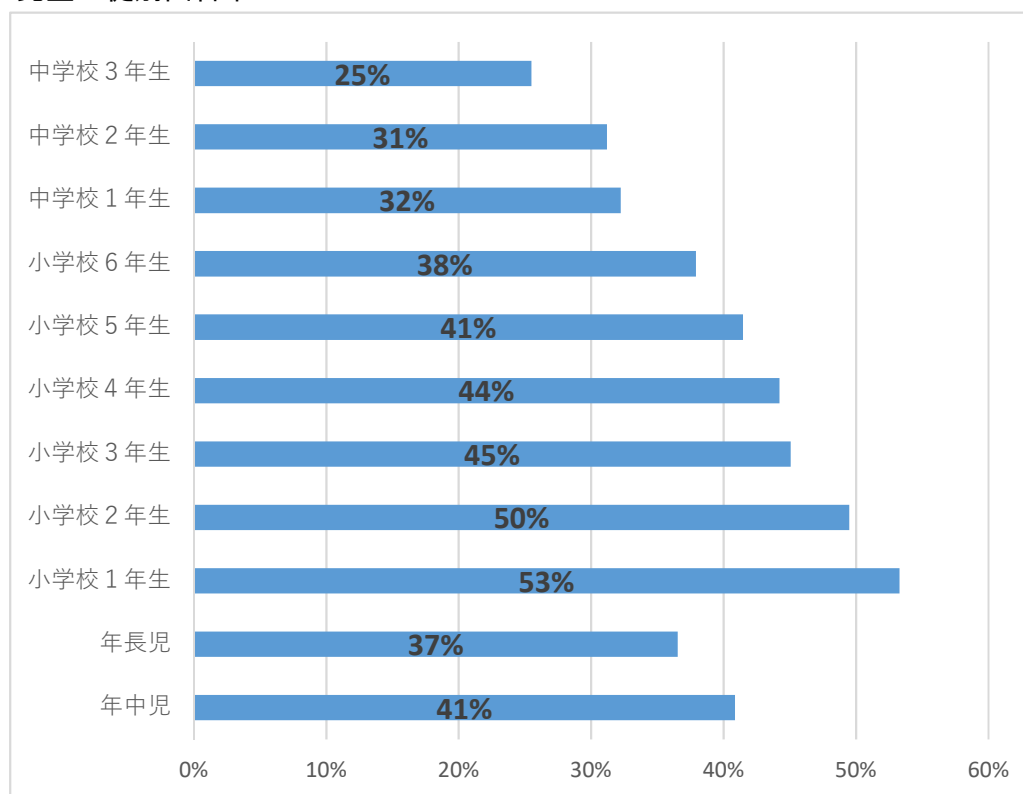
アンケート回答児童生徒・園児数 3,659人

(小学校：2,276人 中学校：805人 園：578人)

アンケート回答率(児童生徒・園児数比) 40%

(小学校：45% 中学校：30% 園：39%)

児童生徒別回答率



分析1：校種別回答

園保護者357人 小学校保護者1,721人 中学校保護者649人

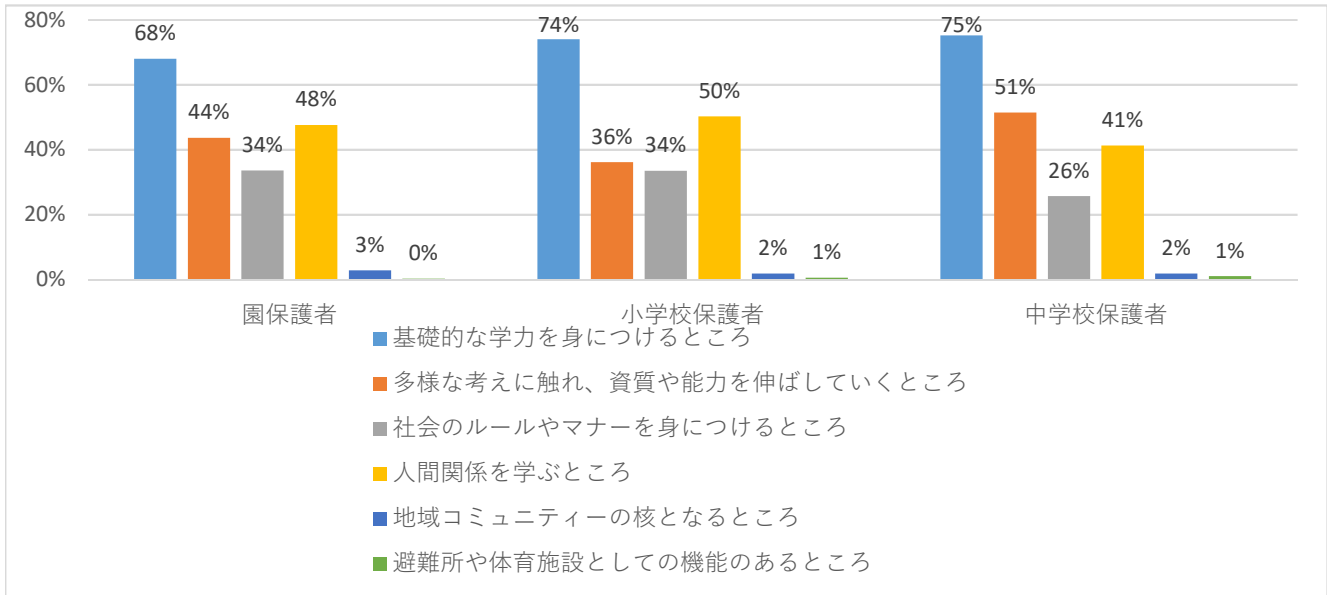
分析2：学校規模別回答

- ※小学校規模別 小規模(複式) 上久堅、千代、千栄、上村、和田 5校
小規模(学年1学級) 追手町、浜井場、下久堅、龍江、川路、三穂 6校
中規模(学年2学級) 丸山、座光寺、竜丘、山本 4校
大規模(学年3学級以上) 松尾、伊賀良、鼎、上郷 4校
- ※中学校規模別 小規模(学年1学級) 竜東、遠山 2校
中規模(学年2学級) 飯田東、飯田西、竜峡 3校
大規模(学年3学級以上) 緑ヶ丘、旭ヶ丘、鼎、高陵 4校

分析3：中学校区別回答

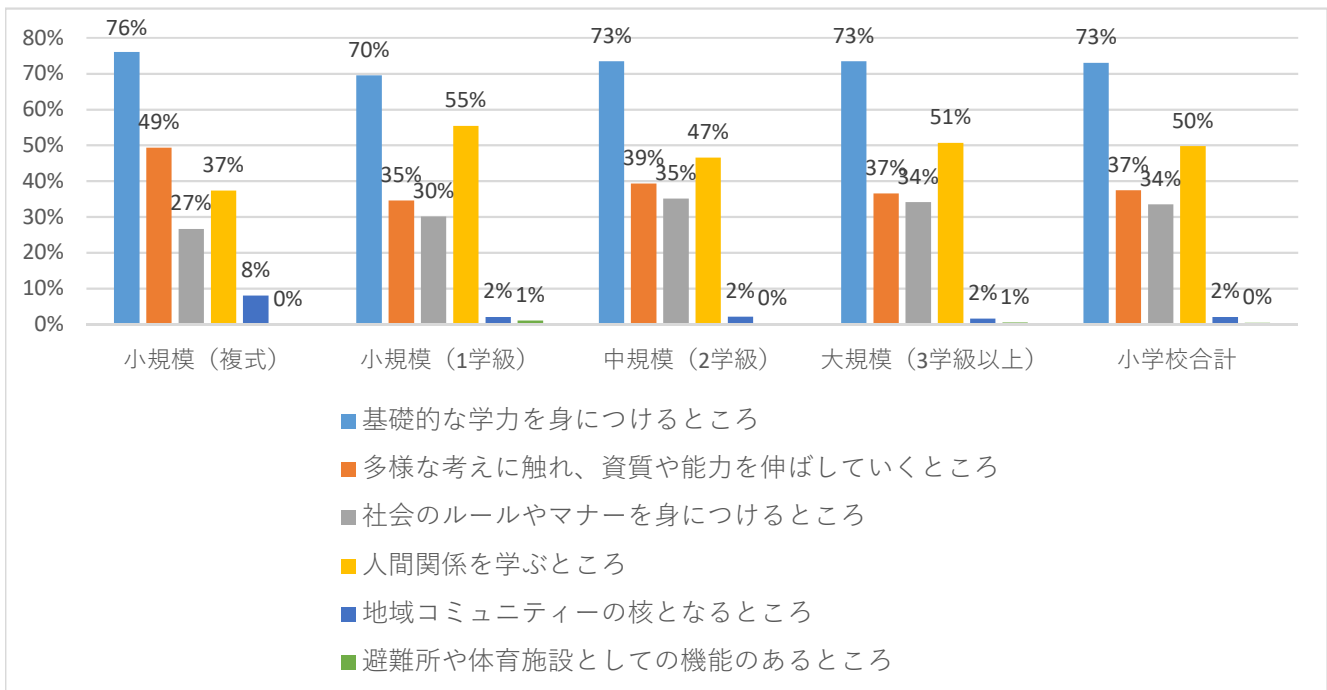
Q1：お子さんの通う学校はどのようなところであるべきだと思いますか？（上位2つまで選択可能）

分析1：校種別回答



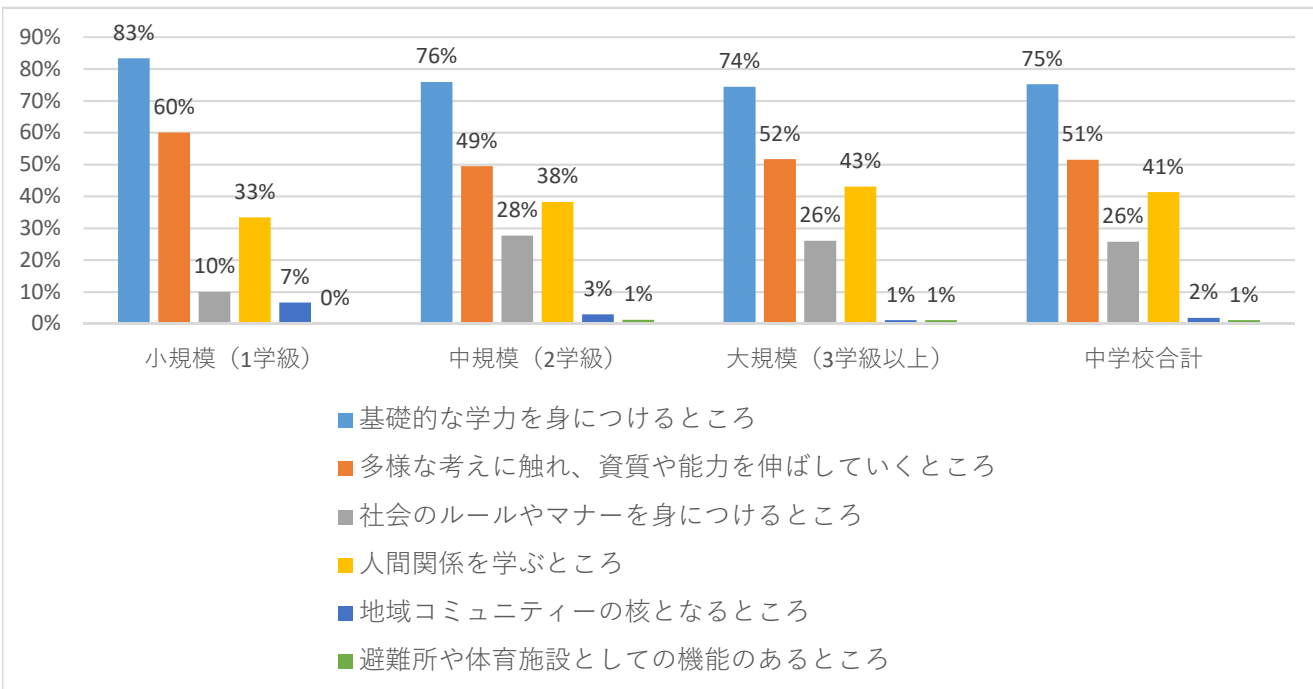
- どの学校種でも「基礎的な学力をつける場所」の比率が最も高い。
- 園・小学校は「人間関係を学ぶ場所」が2番目、「多様な考えに触れ資質や能力を伸ばす場所」が3番目、中学校は「多様な」が2番目、「人間関係」が3番目となっている。
- 中学校は園、小学校に比べ「多様な考えに触れ資質や能力を伸ばしていく場所」の比率が高い。

分析2：小学校規模別回答



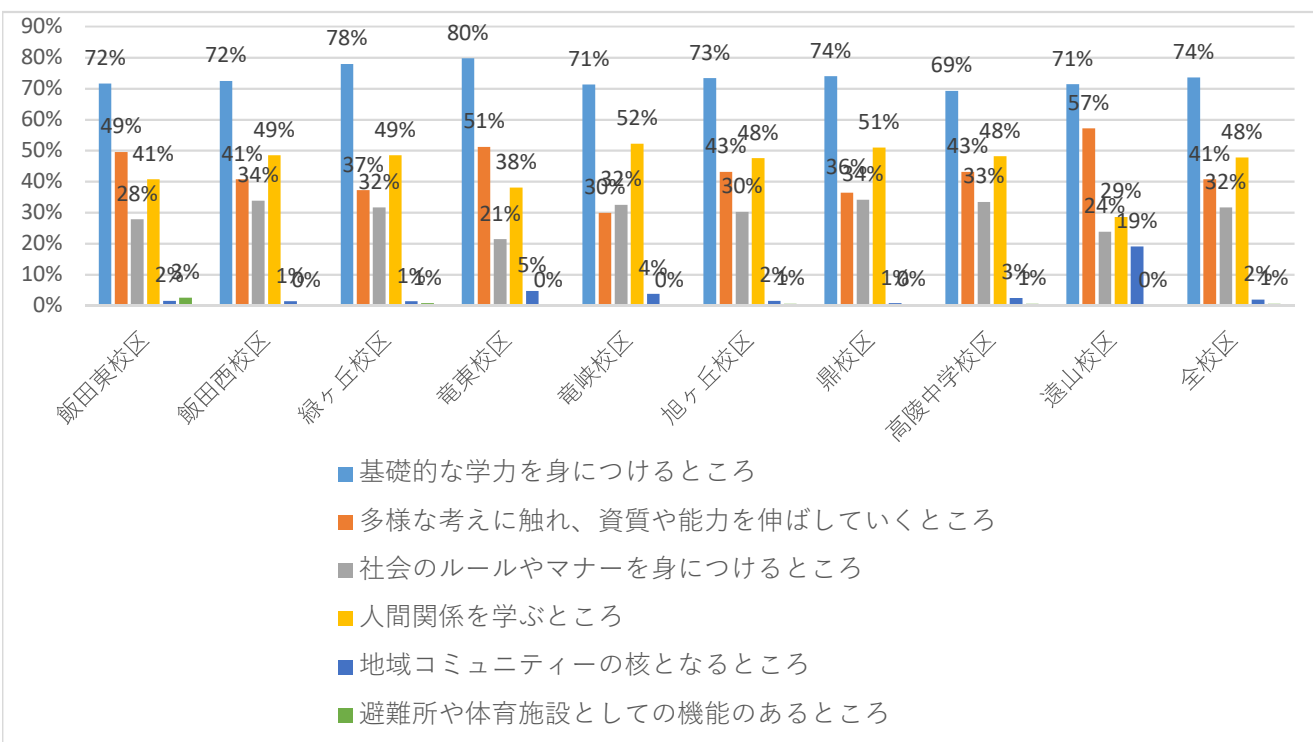
- 学校規模による大きな違いは見られず、「基礎的な学力を身につける場所」が70%以上を占めている。
- 小規模校（複式）では「多様な考えに触れ、資質や能力を伸ばしていく場所」が2番目に多く、「人間関係を学ぶ場所」が3番目となっている。他の規模では「人間関係」が2番目、「多様な考え」が3番目となっている。

分析 2 : 中学校規模別回答



■ 学校規模による大きな違いは見られないが、「社会のルールやマナーを身につける場所」の割合は小規模校が少なくなっている。

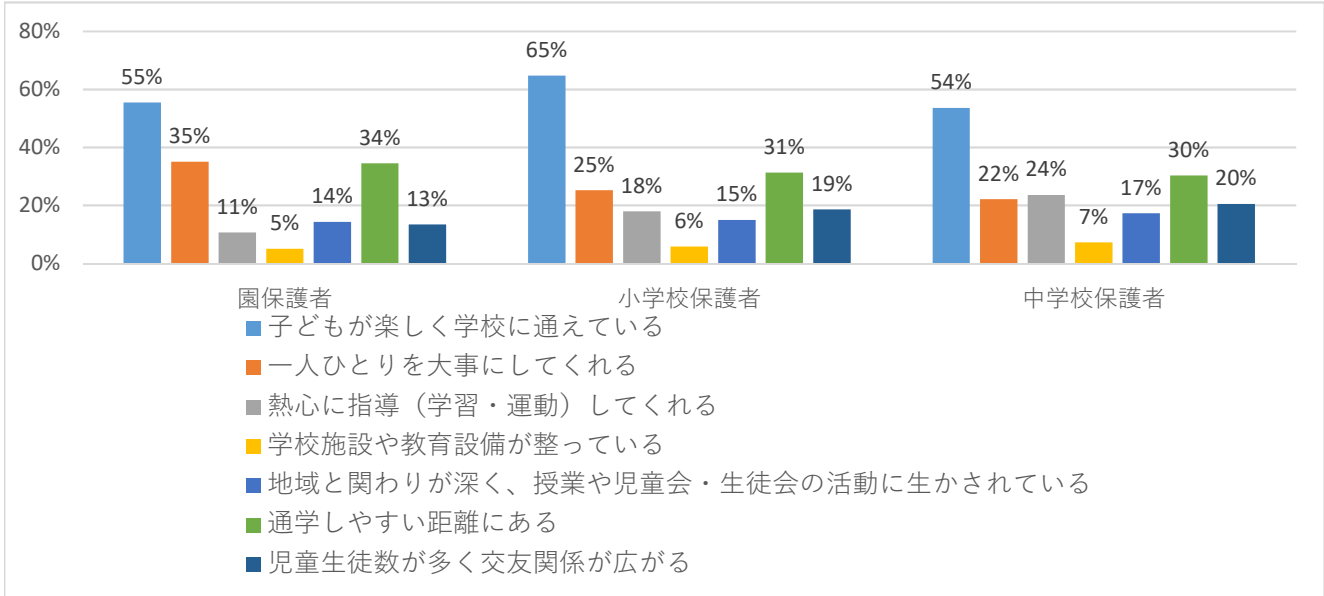
分析 3 : 中学校区別回答



■ 中学校区によって大きな違いは見られないが、遠山中学校区では「地域コミュニティの核になる場所」という回答が20%近くを占めている。他の中学校区は2～5%以下となっている。

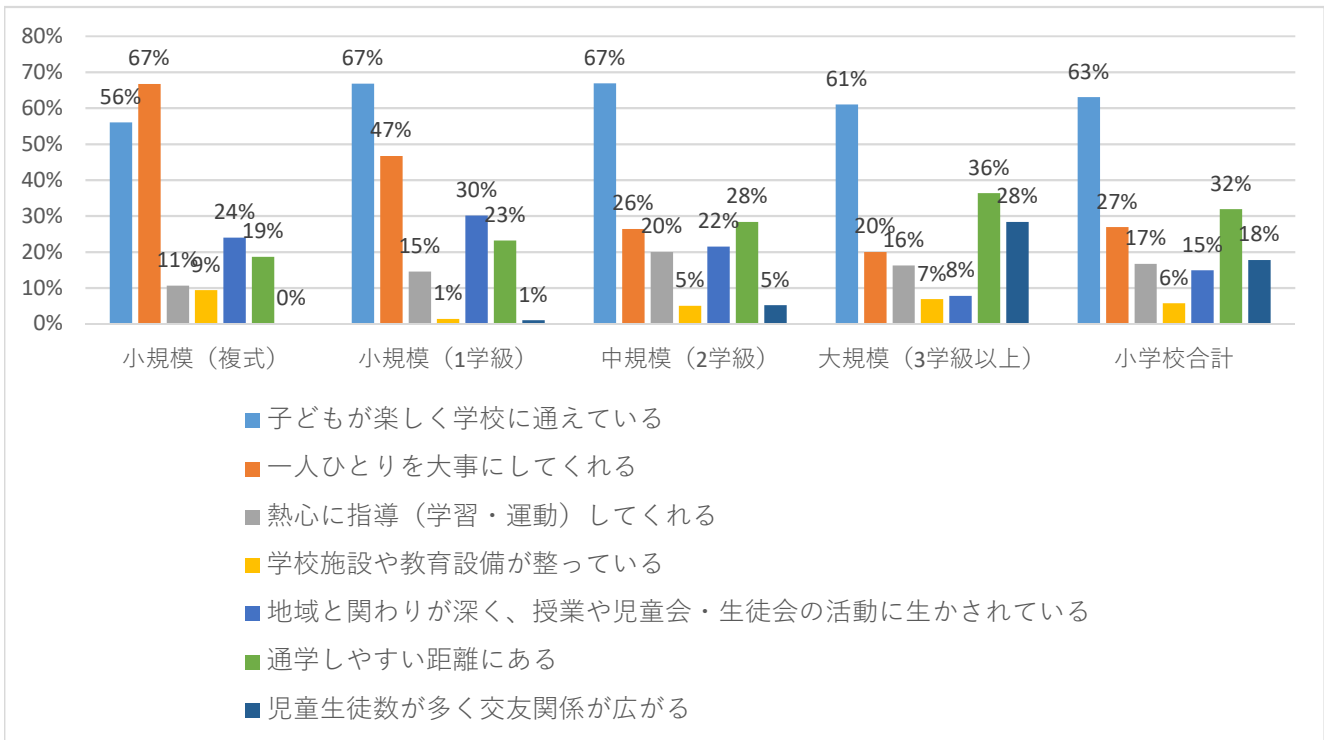
Q2：お子さんの通う学校の魅力はどのようなことだと思いますか？（上位2つまで選択可能）

分析1：校種別回答



■園では「一人一人を大切にしてくれる」「通学しやすい距離にある」がほぼ同数、小学校と中学校では後者の方が若干多く2番目を占めている。

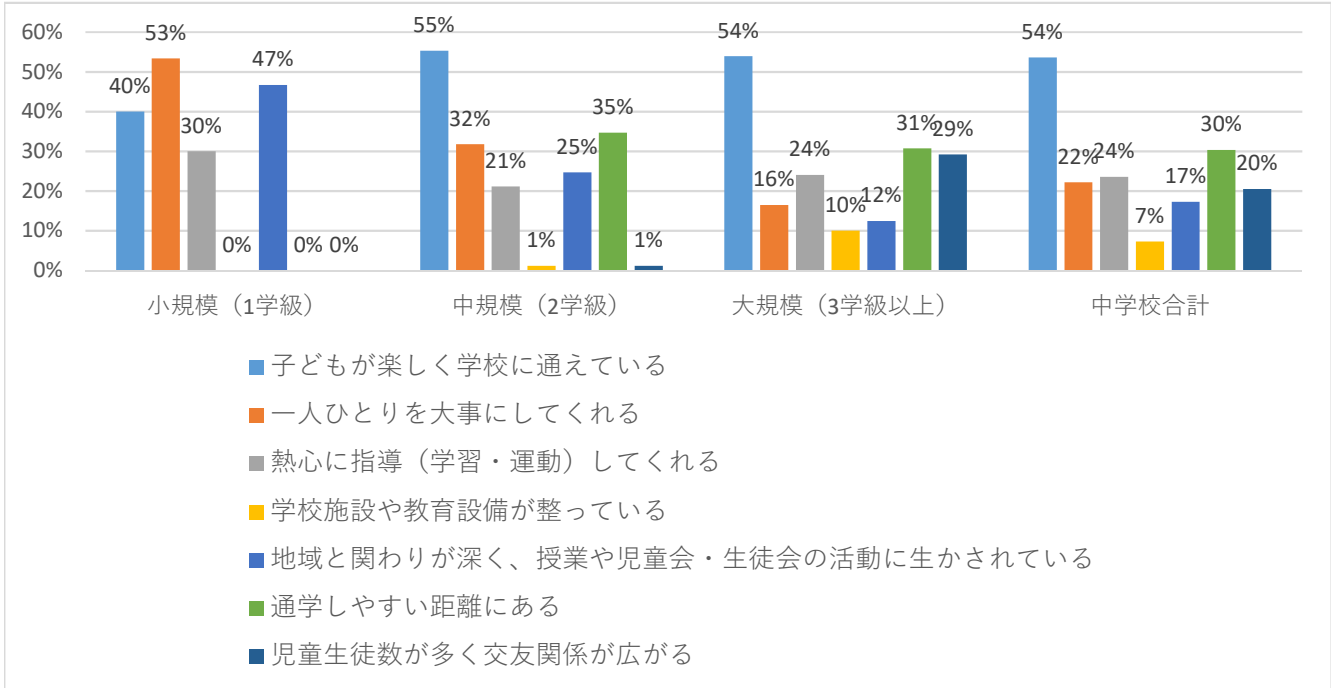
分析2：小学校規模別回答



■「一人一人を大切にしてくれる」について、小規模校（複式）は67%、小規模（1学級）は47%、中規模（2学級）大規模（3学級以上）は20数%というように、規模が小さいほど大きくなっている。

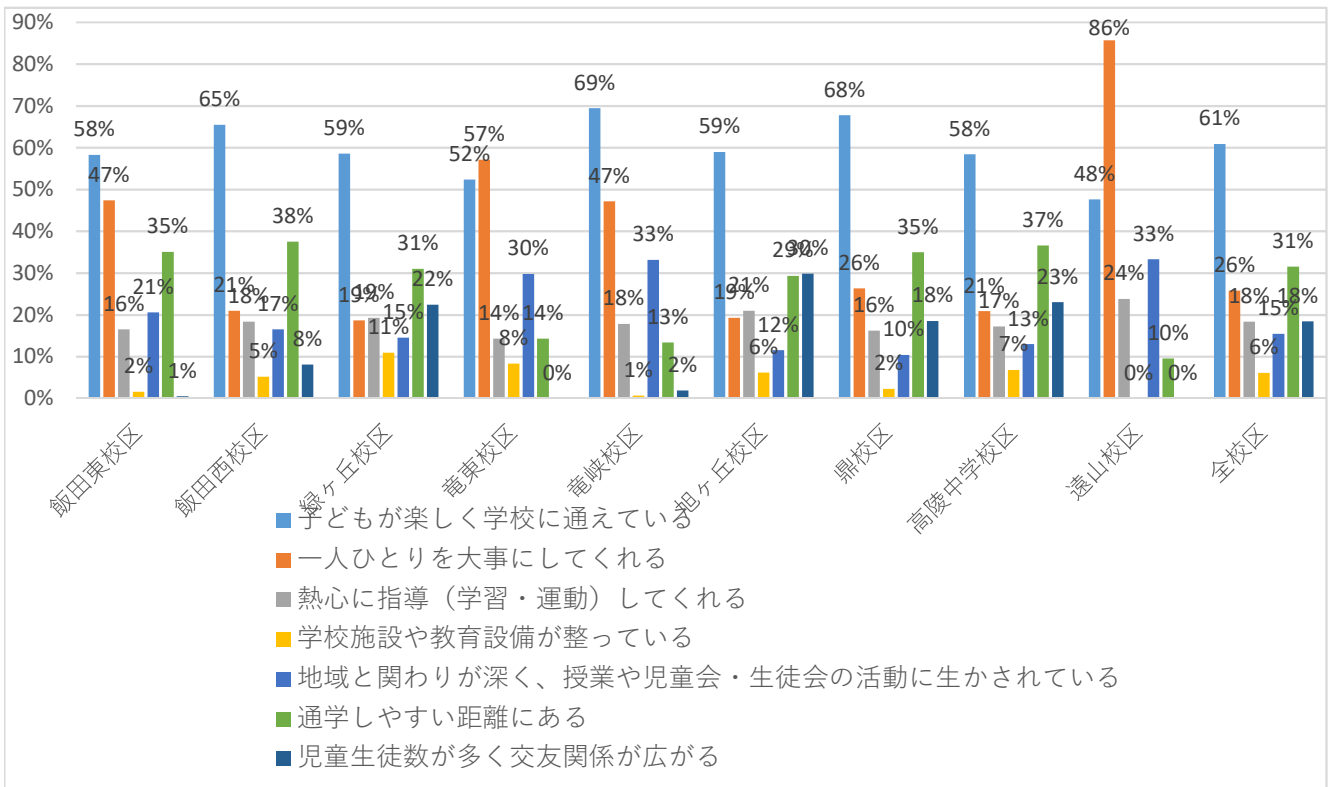
■逆に「通学しやすい距離にある」は規模が大きくなるほど占める割合が高くなっていて、大規模校は36%を占めている。

分析 2 : 中学校規模別回答



- 小規模では「通学しやすい距離にある」という回答がない。
- 「一人一人を大事にしてくれる」の占める割合は学校規模が大きくなるに従って減少している。
- 「学校施設や教育設備が整っている」という回答は大規模校での比率が高い。中規模校では2人、小規模校では回答がなかった。
- 「児童生徒が多く、交友関係が広がる」という回答は大規模校で30%程度を占め、中規模校は2人のみ、小規模校では回答がなかった。

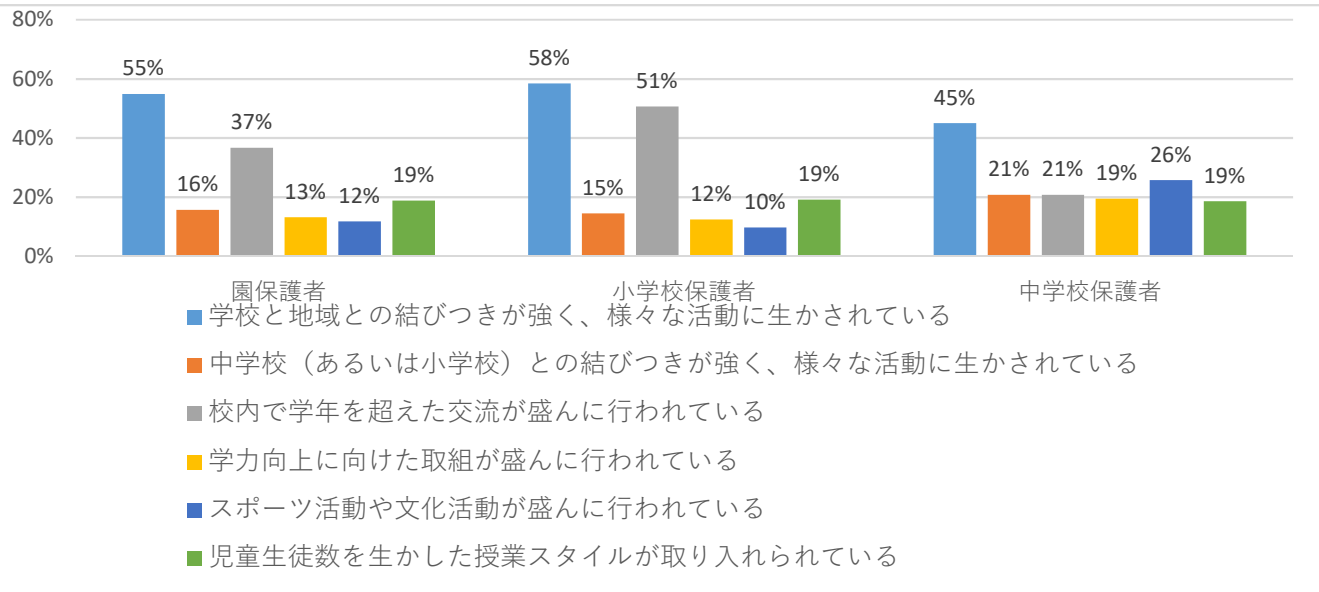
分析 3 : 中学校区別回答



- 遠山中学校区、竜東中学校区、竜峡中学校区、飯田東中学校区で「一人ひとりを大事にしてくれる」の割合が他の校区に比べ高い。
- 竜東中学校区、竜峡中学校区、遠山中学校区では「通学しやすい～」の割合が低い。
- 「児童生徒数が多く交友関係が広がる」は緑ヶ丘中学校区、旭ヶ丘中学校区、鼎中学校区、高陵中学校区で20%～30%を占めている。

Q3：お子さんの通う学校の特徴は何だと思いますか？（3つまで選択可能）

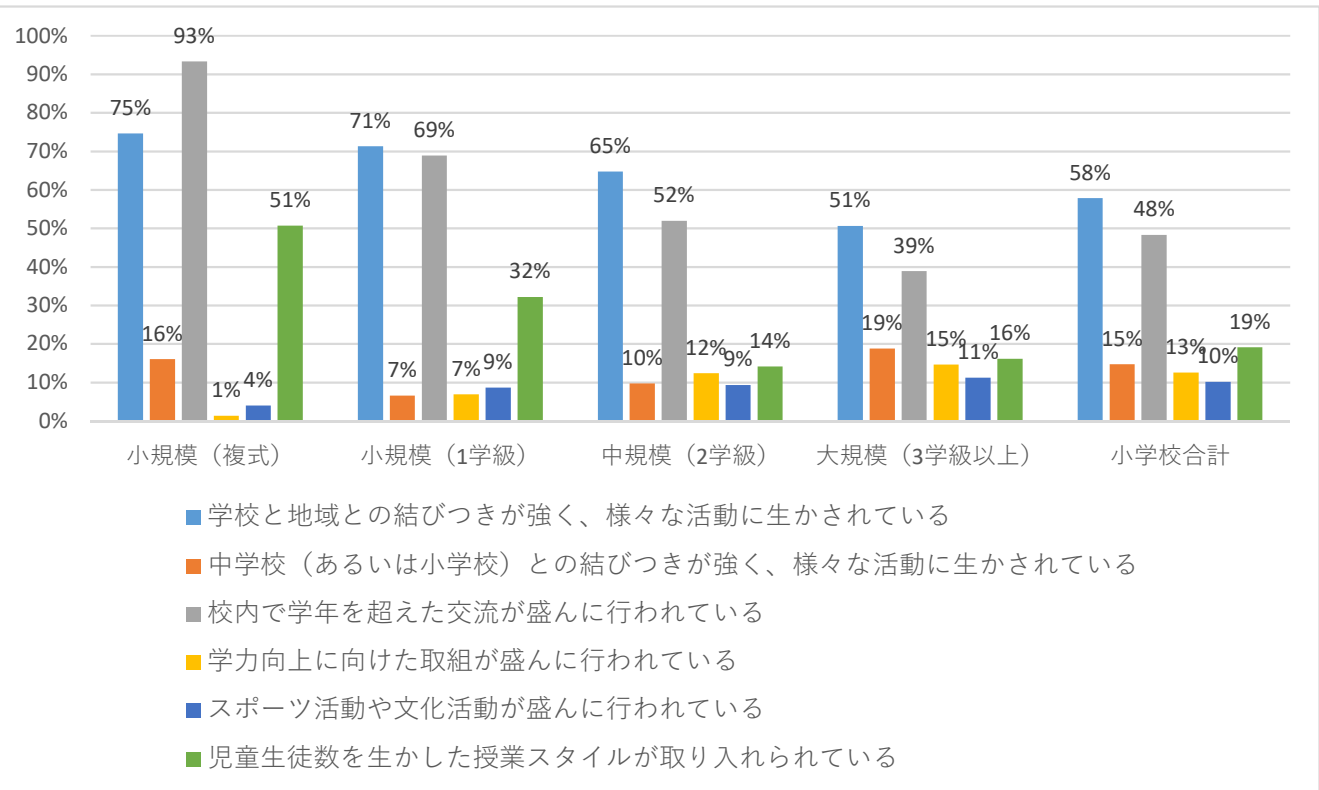
分析1：校種別回答



■いずれも「学校と地域の結びつきが強く、様々な活動に生かされている」が最も多いが、中学校はその比率が園と小学校に比べてやや低い。

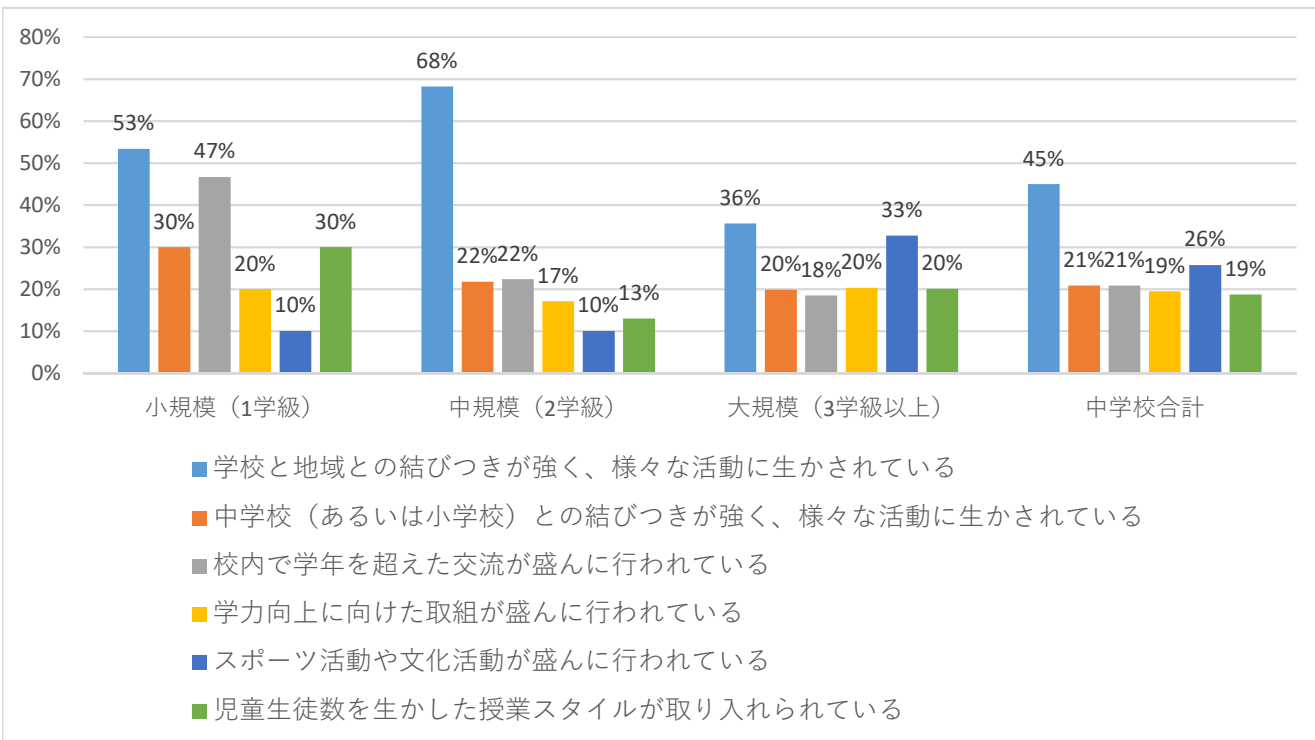
■園と小学校では「校内で学年を超えた交流が盛んに行われている」が、中学校では「スポーツ活動や文化活動が盛んに行われている」が2番目に多くなっている。

分析2：小学校規模別回答



■小規模校（複式）では「校内で学年を超えた交流が盛んに行われている」が最も高く、2番目が「学校と地域との結びつきが強く、様々な活動に生かされている」なのに対し、他の規模は「学校と地域」「学年を超えた交流」の順となっている。

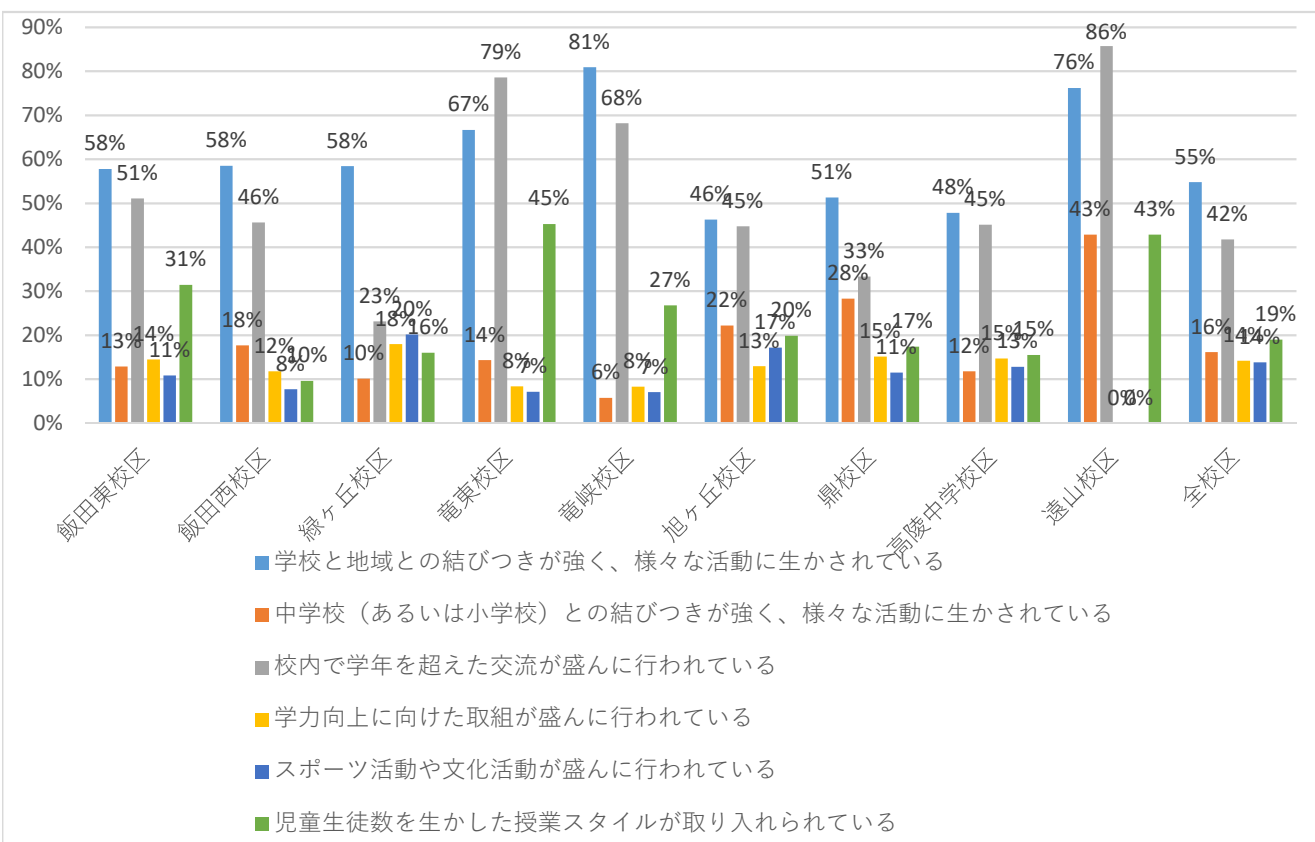
分析 2 : 中学校規模別回答



■「学校と地域の結びつきが強く、様々な活動に生かされている」の割合は、中規模校が最も高く、大規模校が最も低く36%となっている。

■「スポーツ活動や文化活動が盛んに行われている」は大規模校の割合が高くなっている。

分析 3 : 中学校区別回答

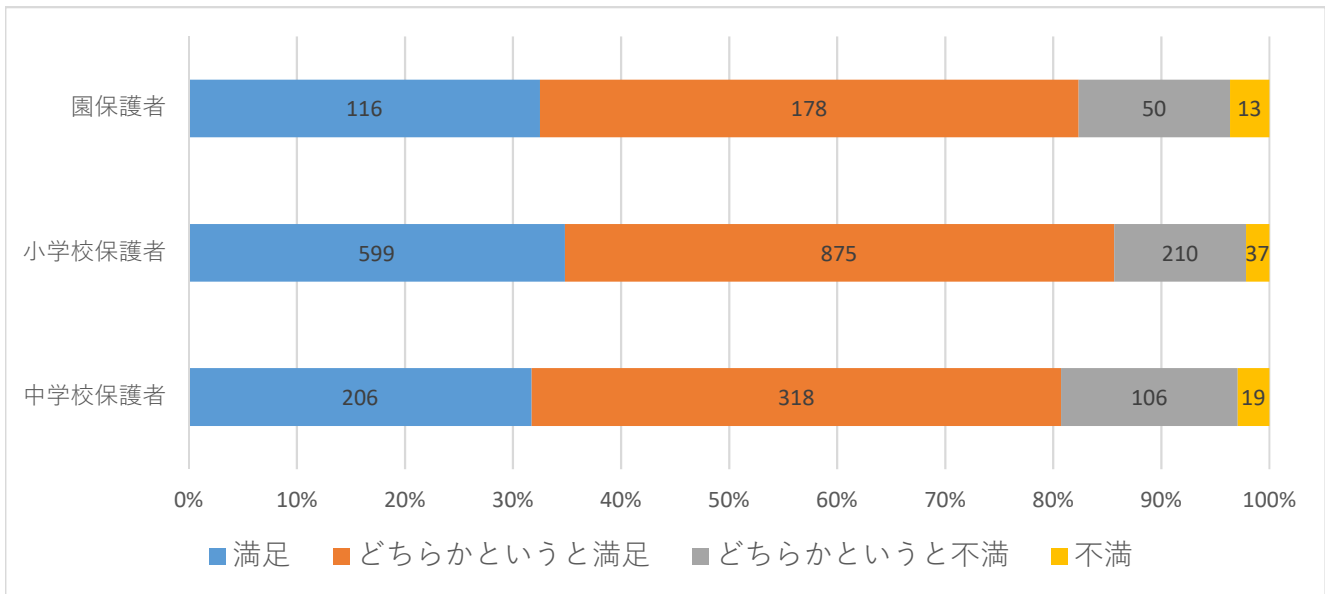


■それぞれの中学校区によって比率は違うが、どの中学校区も「学校と地域の結びつきが強く、様々な活動に生かされている」「校内で学年を超えた交流が盛んに行われている」の比率が高い。

■遠山中学校区では「学力向上に向けた取組が盛んに行われている」「スポーツ活動や文化活動が盛んに行われている」の回答がなく、竜東中学校区、竜峡中学校区ではそれぞれ8%以下となっている。

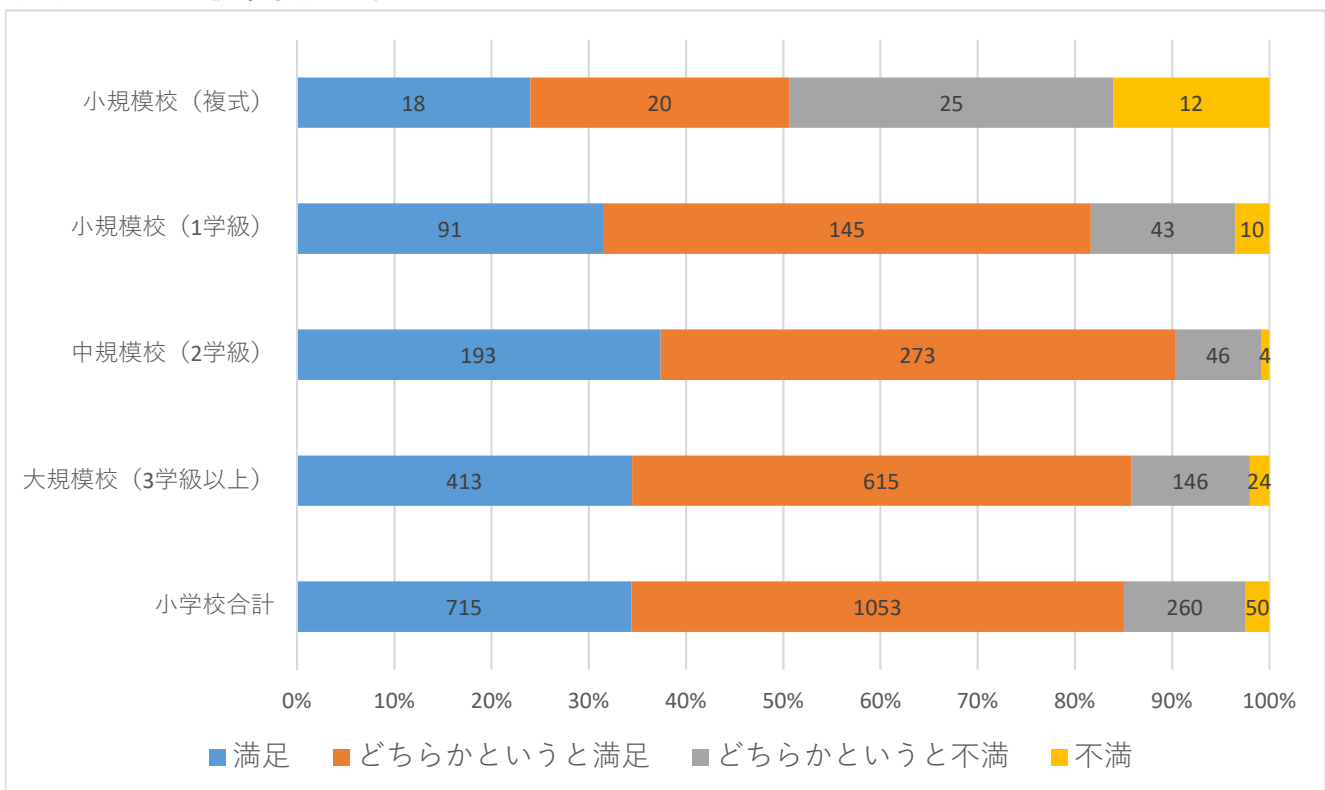
Q4：お子さんが通う学校の学校規模（1校あたりの児童生徒数）に満足していますか？

分析1：校種別回答



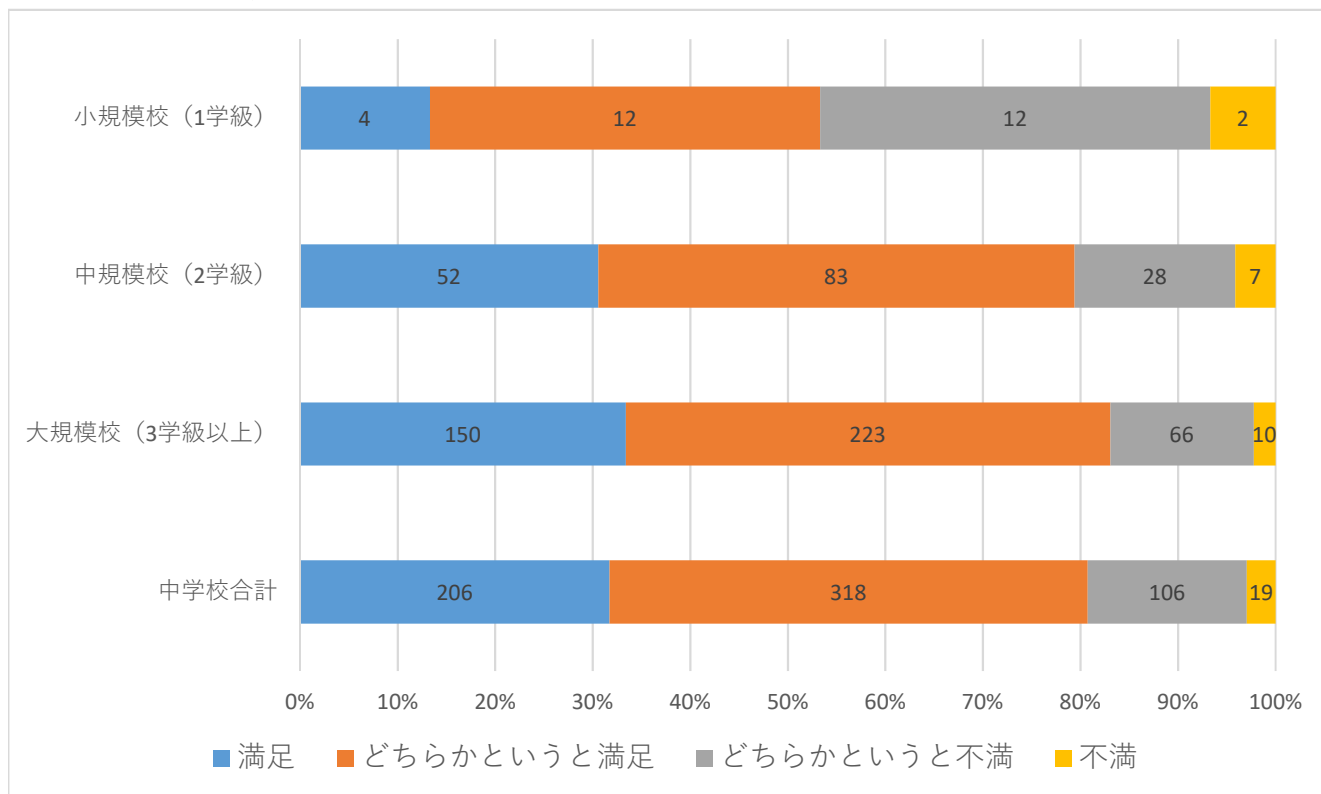
■いずれも「どちらかという満足」が約50%、「満足」が約30%を占めている。

分析2：小学校規模別回答



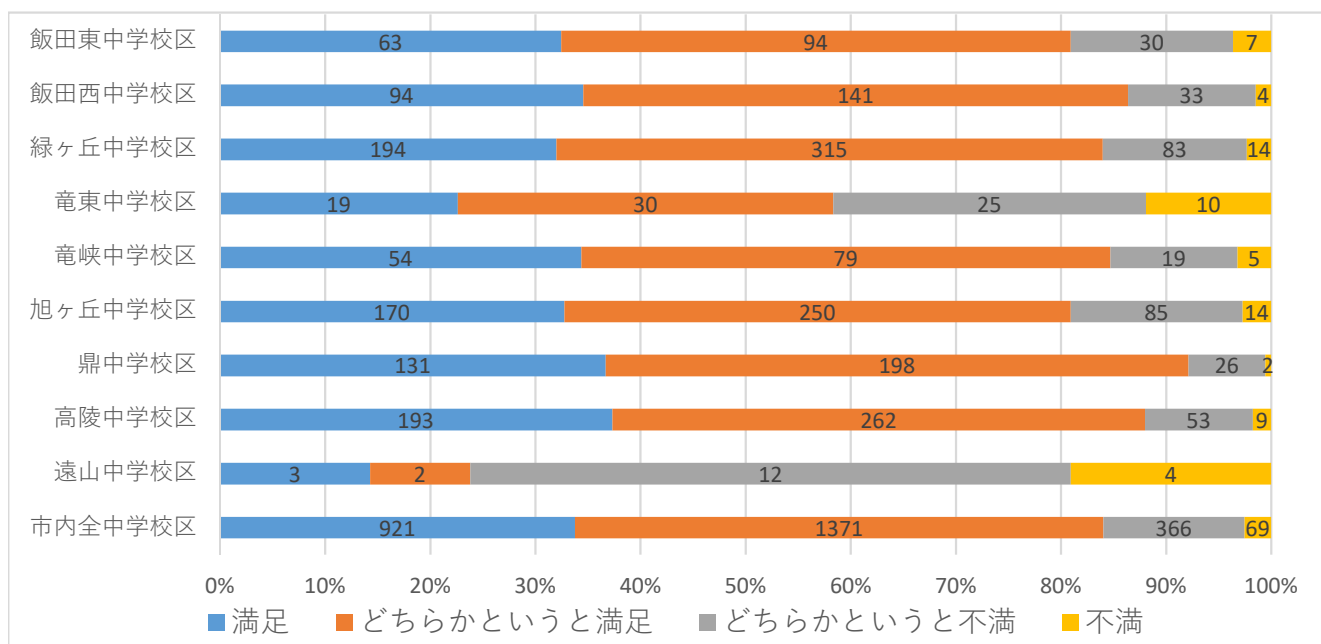
■小規模（1学級）、中規模、大規模とも同じ傾向を示し「満足」「どちらかという満足」が80%以上を占めるが、小規模（複式）では「不満」「どちらかという不満」が50%近くを占めている。

分析 2 : 中学校規模別回答



■小規模校では「不満」「どちらかという不満」が47%を占めているが、中規模校、大規模校では「満足」「おおよそ満足」がおよそ80%を占めている。

分析 3 : 中学校区別回答

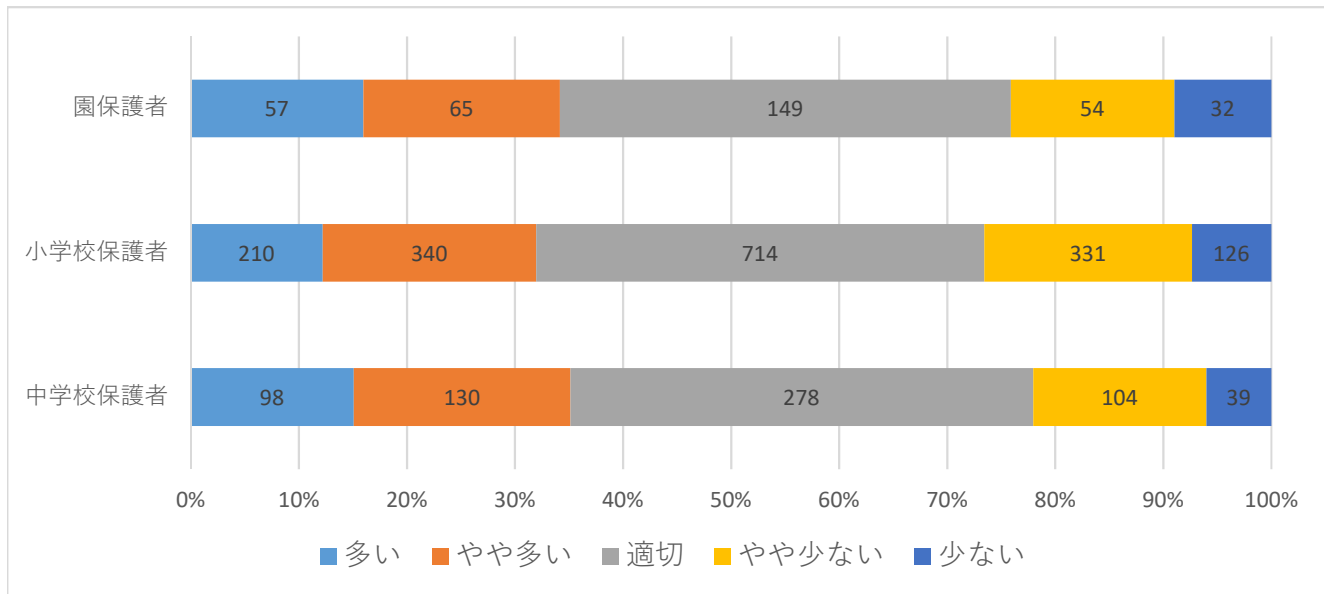


■遠山中学校区は「不満」「どちらかという不満」が75%を超え、竜東中学校区は42%を占めている。

■他の中学校区は「満足」「どちらかという満足」が80%~90%近くを占めている。

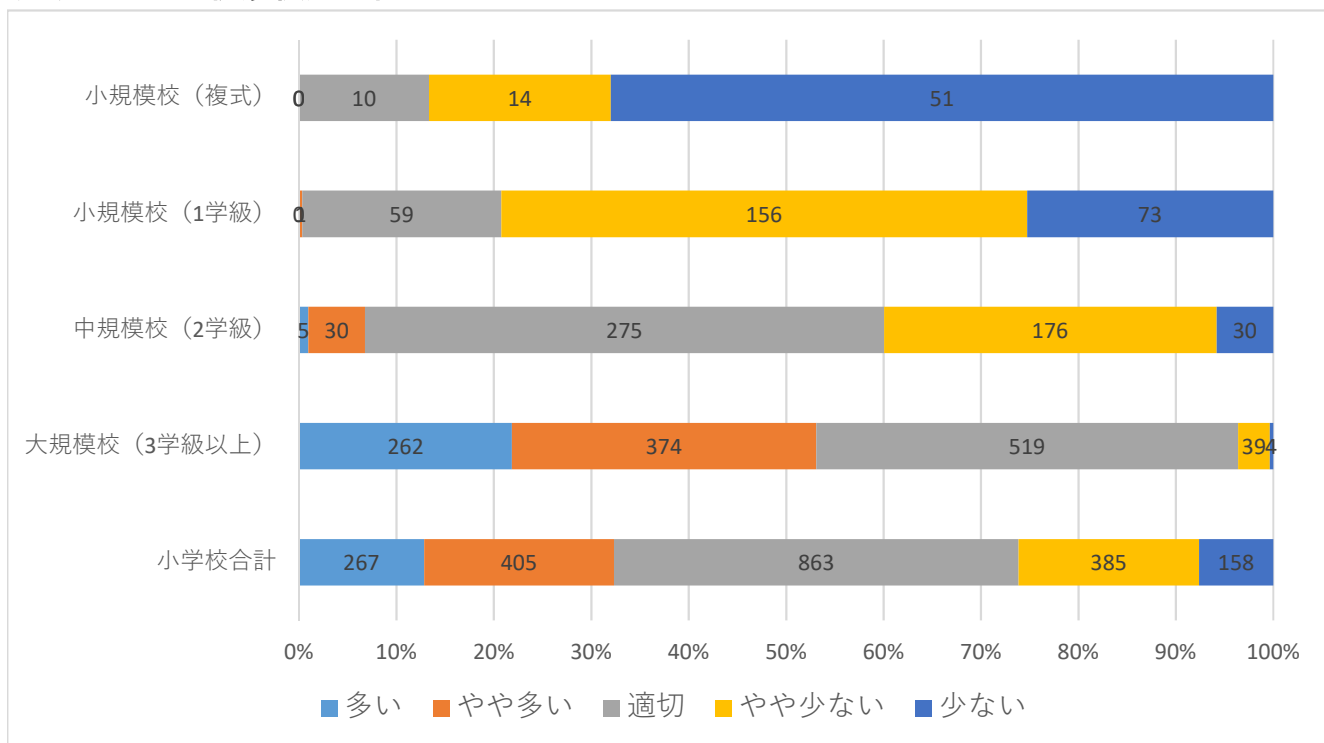
Q5：お子さんが通う学校の児童生徒数についてどのように思われますか？

分析1：校種別回答



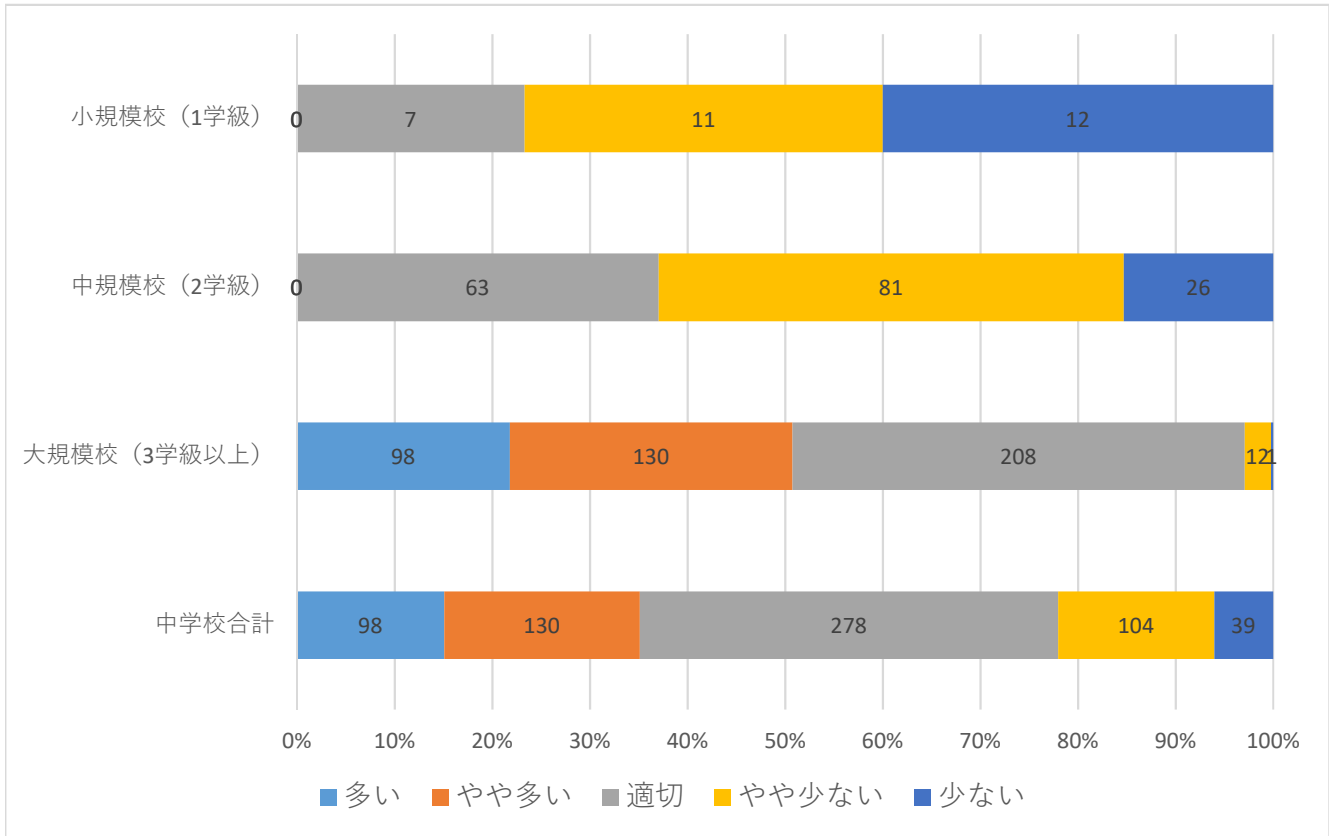
■いずれも「適切」が約40%、「やや多い」「やや少ない」が約20%ずつを占めている。

分析2：小学校規模別回答



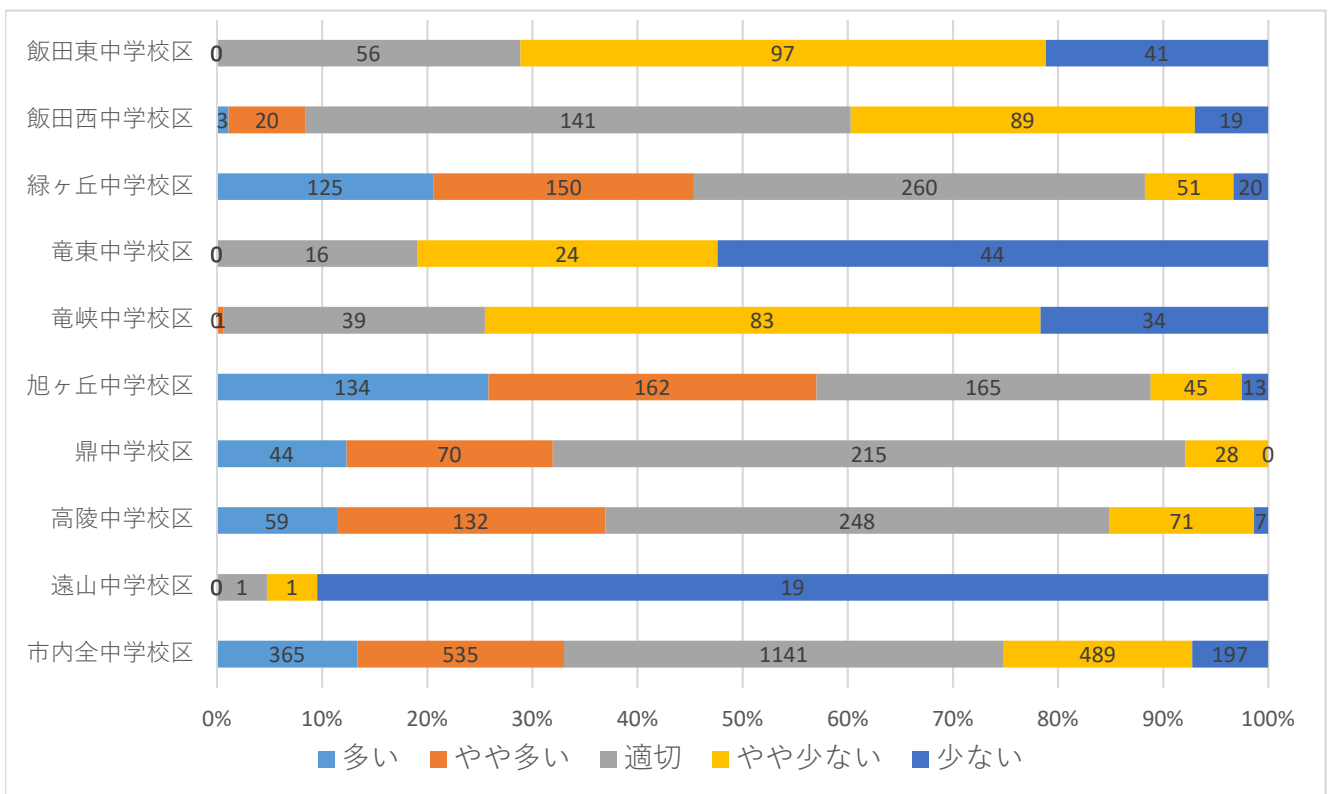
■小規模(複式)は「少ない」が約70%を、小規模(1学級)は「やや少ない」が54%を、中規模(2学級)では「適切」が53%を、大規模(3学級以上)では「多い」「やや多い」が53%を占めている。

分析 2 : 中学校規模別回答



- 小規模校は「少ない」が40%、「やや少ない」が36%を占め、中規模校では「少ない」が15%、「やや少ない」が48%を占めている。
- 大規模校では「多い」「やや多い」と「適切」がおおよそ半数ずつを占めている。

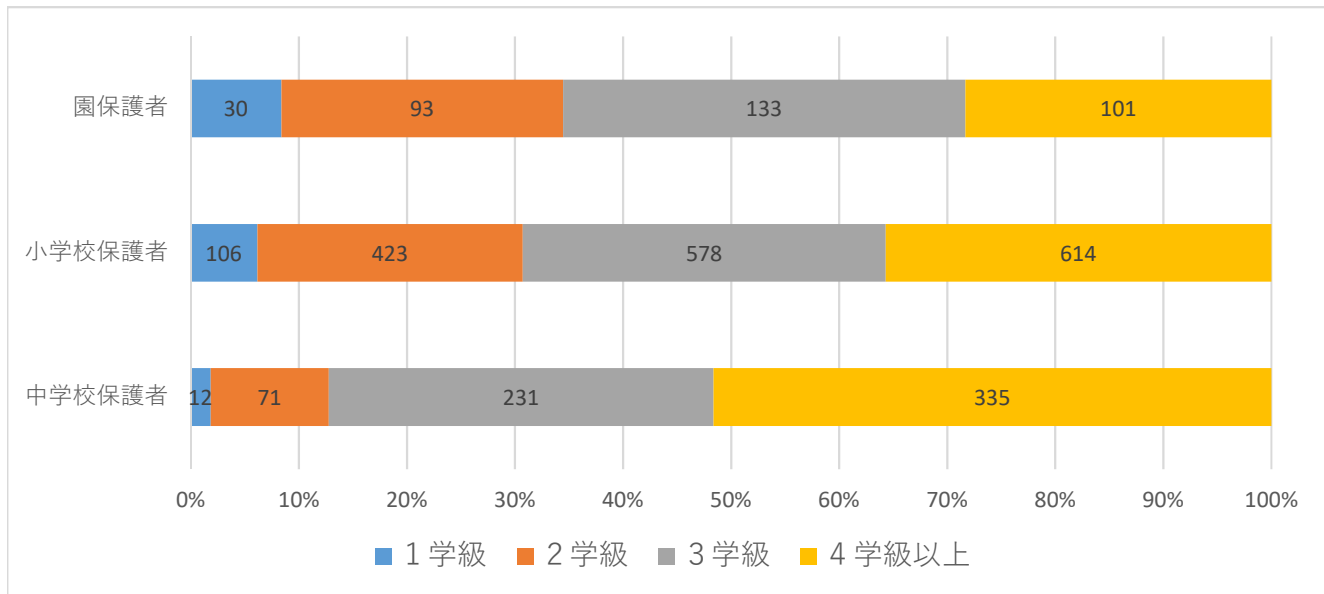
分析 3 : 中学校区別回答



- 「少ない」「やや少ない」が70%を超えているのは、遠山中学校区、竜東中学校区、竜峡中学校区、飯田東中学校区である。
- 旭ヶ丘中学校区は「多い」「やや多い」が50%を超えている。

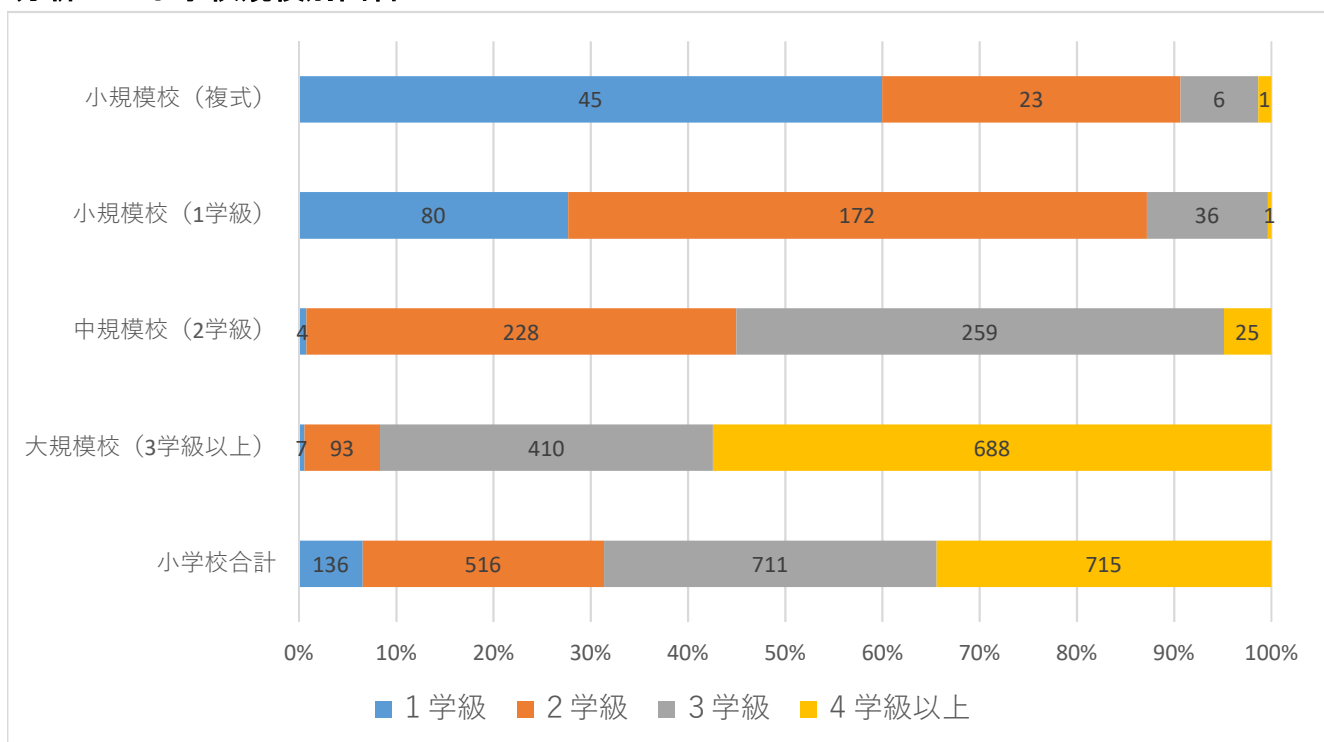
Q6：1学年あたりの学級数ほどのくらいが良いと思いますか？

分析1：校種別回答



■園は「3学級」「4学級以上」「2学級」の順。小学校は「4学級以上」「3学級」「2学級」、中学校は「4学級以上」が50%以上、「3学級」が40%近くを占めている。

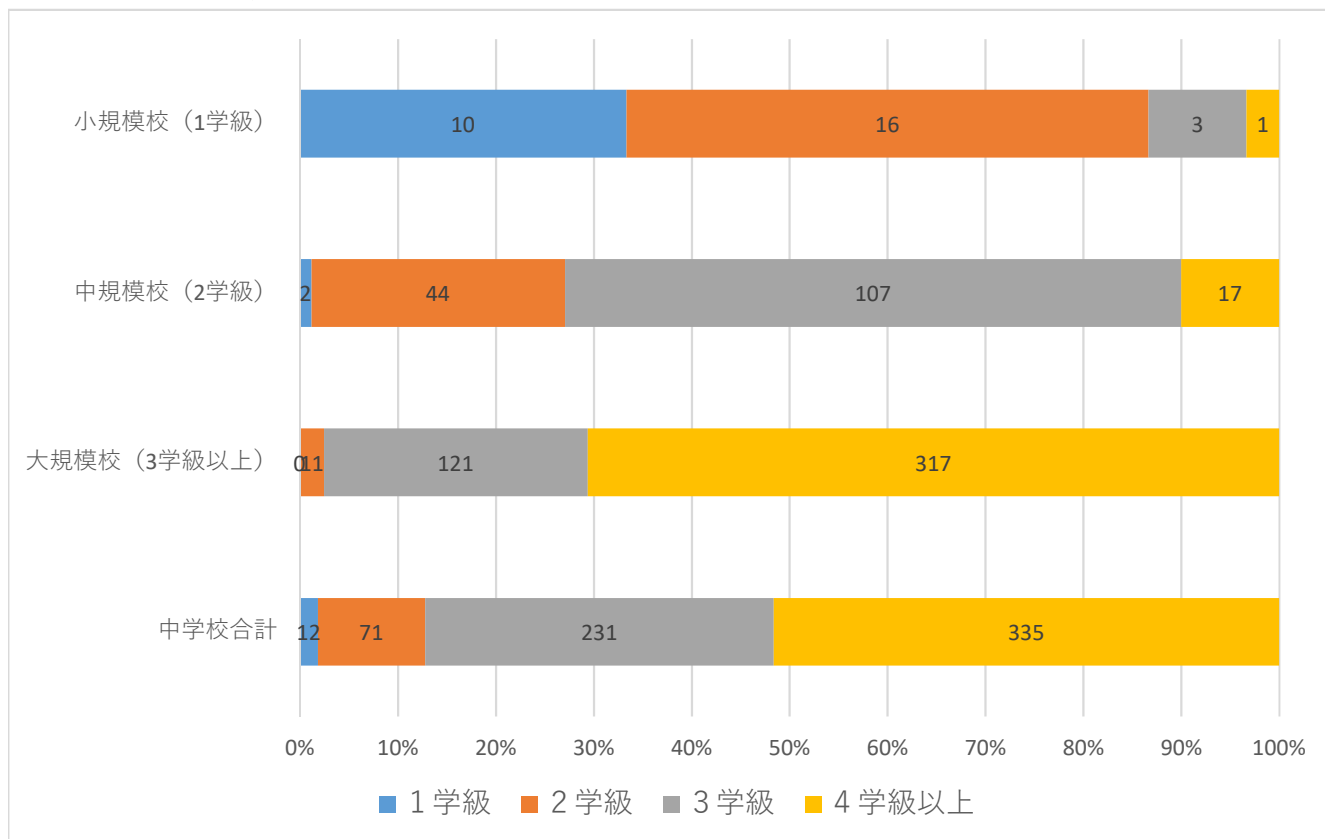
分析2：小学校規模別回答



■小規模(複式)は「1学級」が60%を、小規模(1学級)では「2学級」が60%を占めており、現在の規模と同じか1学級程度多い学校規模を望んでいると考えられる。

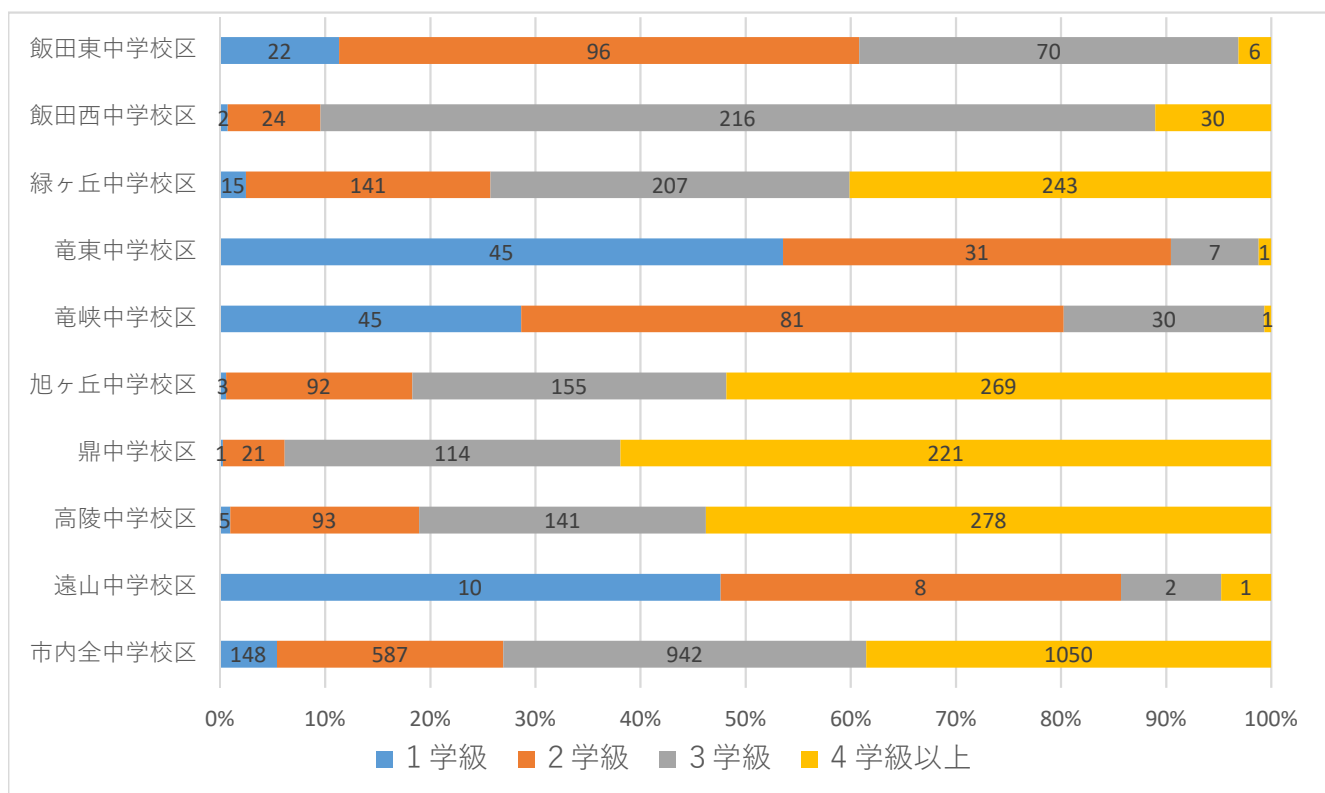
■中規模(2学級)では「2学級」「3学級」で90%以上を、大規模(3学級以上)では「3学級」「4学級以上」が90%以上を占め、現状に満足していると考えられる。

分析 2 : 中学校規模別回答



■小規模校では「2学級」が、中規模校では「3学級」が占める割合が最も高く、現在と同じか現在よりも1学級多い学級数が良いと考えている保護者が多い。
 ■大規模校では「4学級以上」が71%を、「3学級」が27%を占めている。

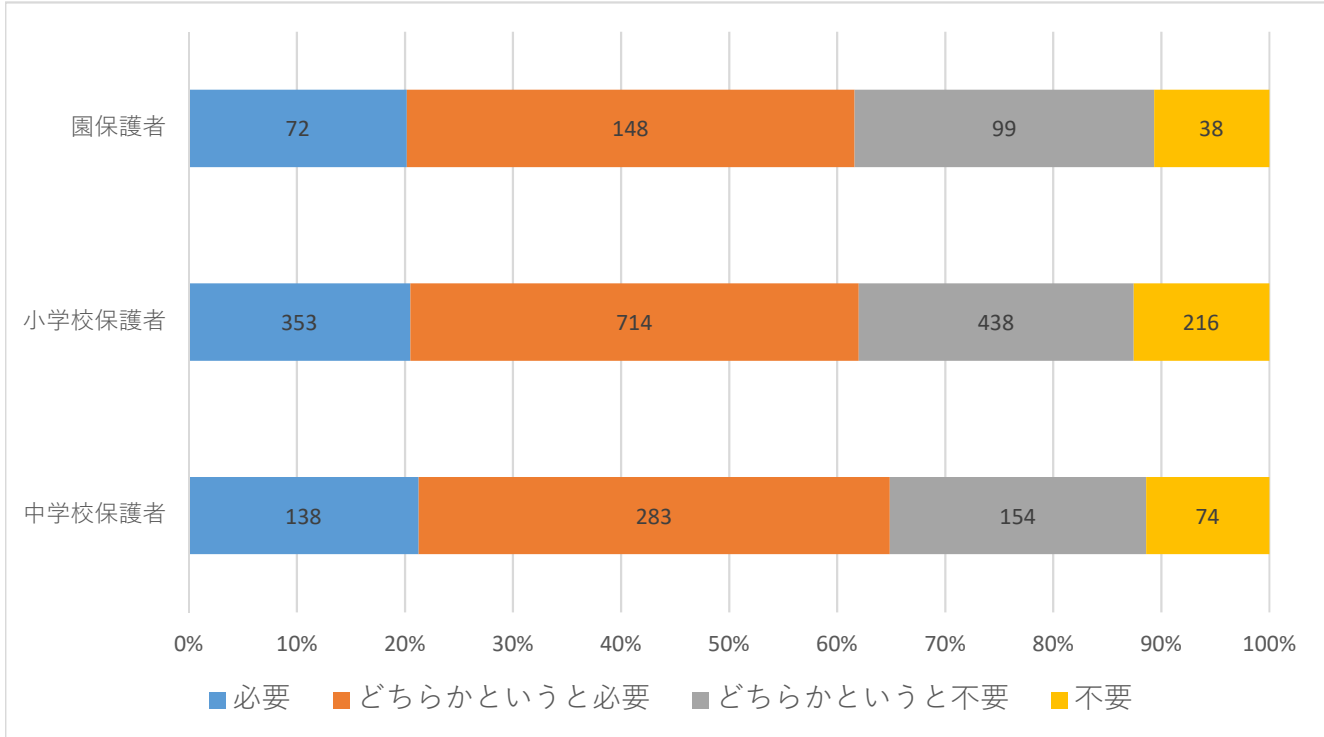
分析 3 : 中学校区別回答



■中学校区ごとに違いがみられる。様々な状況が影響を与えているものと考えられる。

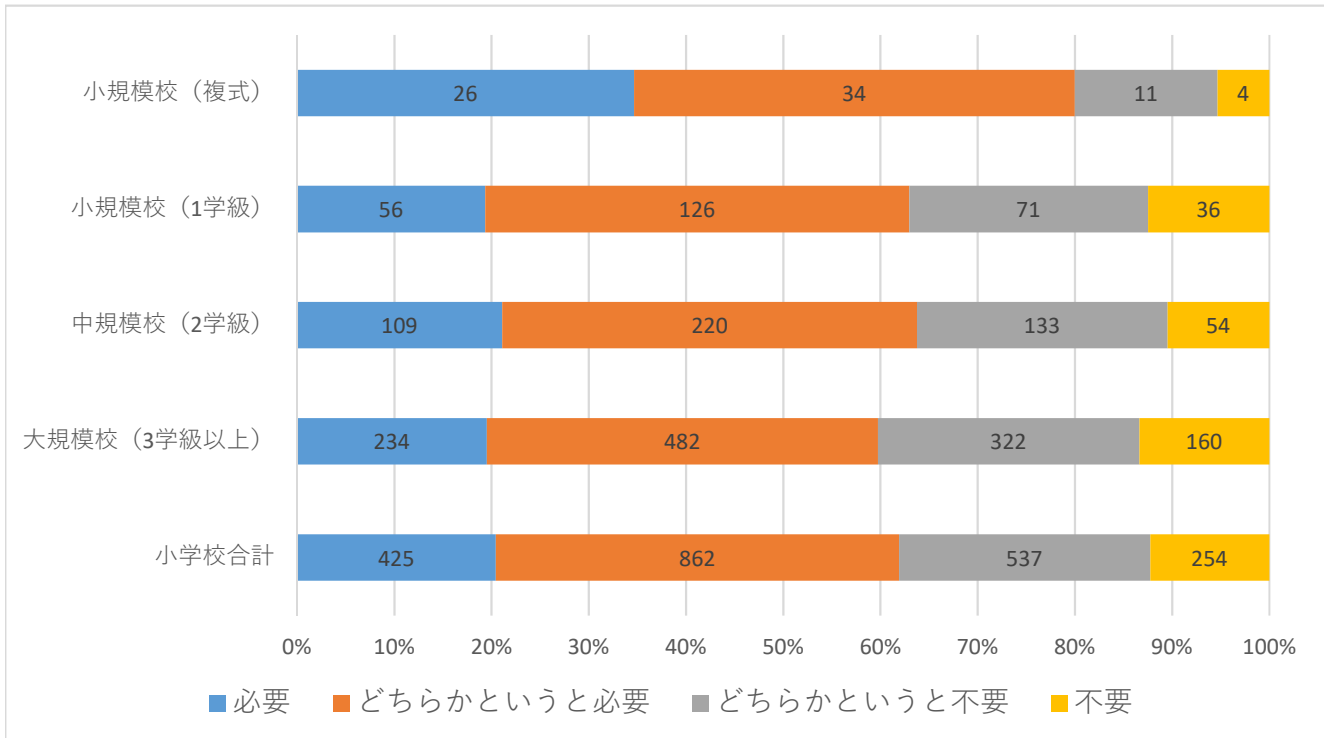
Q7：学校を取り巻く現状（少子化や施設の老朽化）に対応し、子どもたちの教育環境を充実するために学校の統合等は必要だと思いますか？

分析1：校種別回答



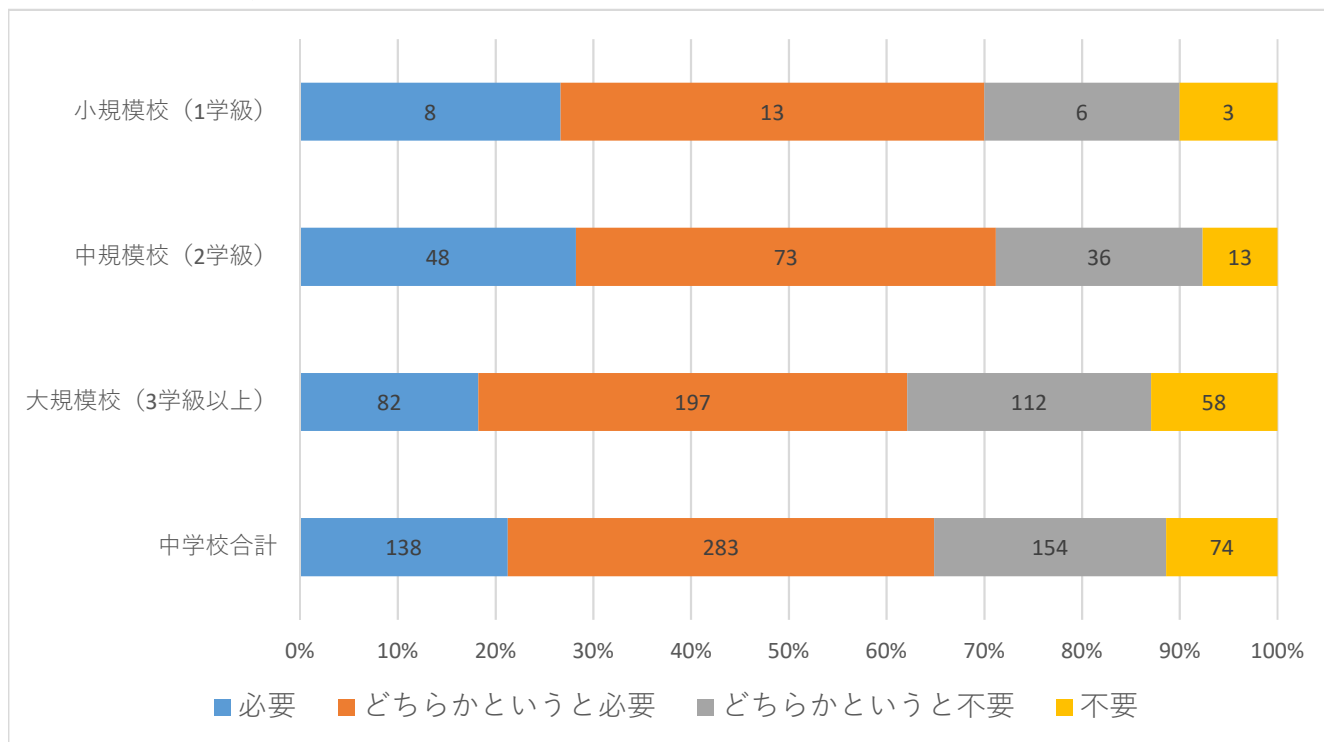
■校種による大きな違いは見られず、いずれも「必要」「どちらかという必要」を合わせて60%以上を占めている。

分析2：小学校規模別回答



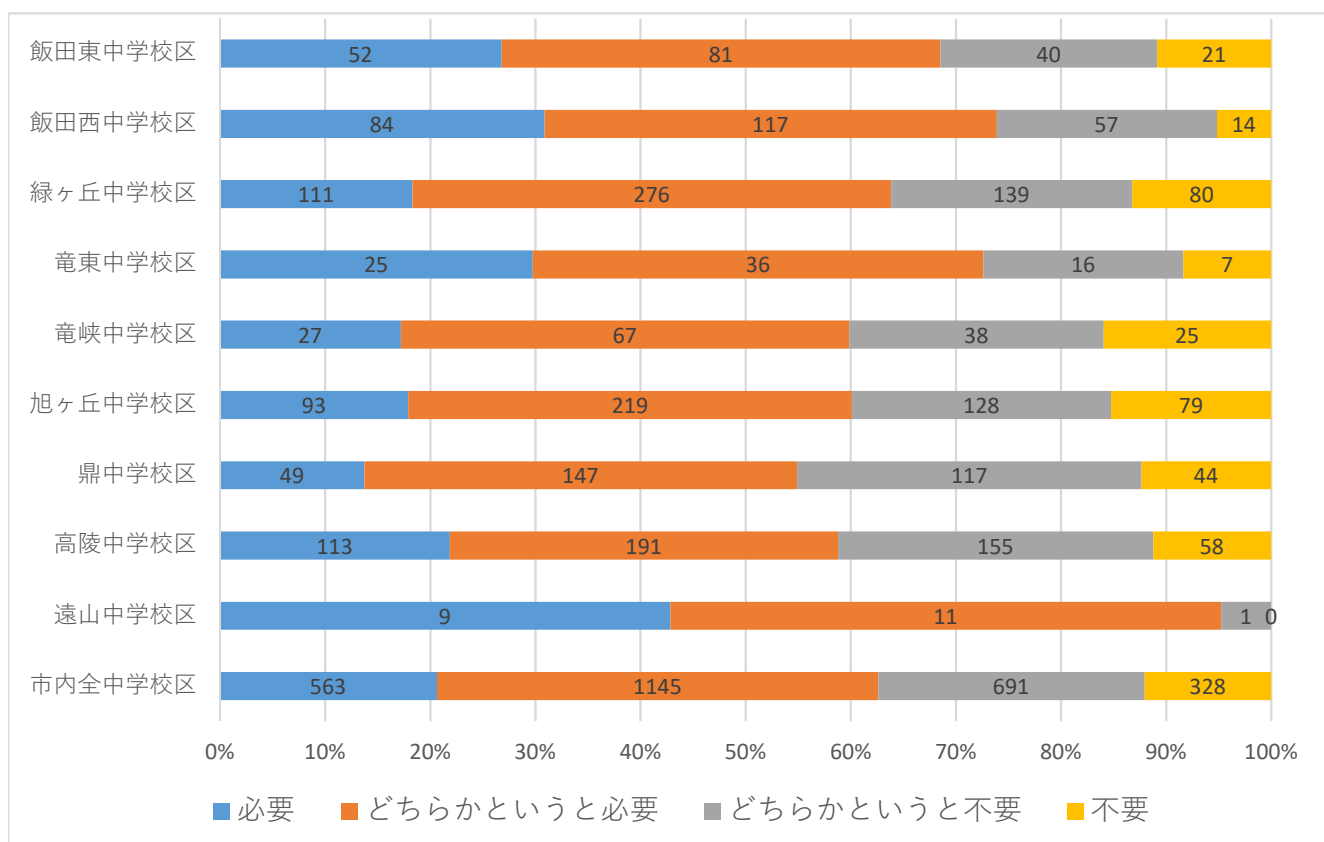
■小規模（複式）では「必要」「どちらかという必要」が80%を占めている。他の規模はほぼ同じ傾向を示し、「必要」「どちらかという必要」を合わせて60%近くを占めている。

分析 2 : 中学校規模別回答



■ 小規模校と中規模校では同じような傾向を示し、「必要」「どちらかという必要」が約70%を占めている。大規模校はそれぞれが占める割合は若干少なくなっているが、ほぼ同じような傾向を示している。

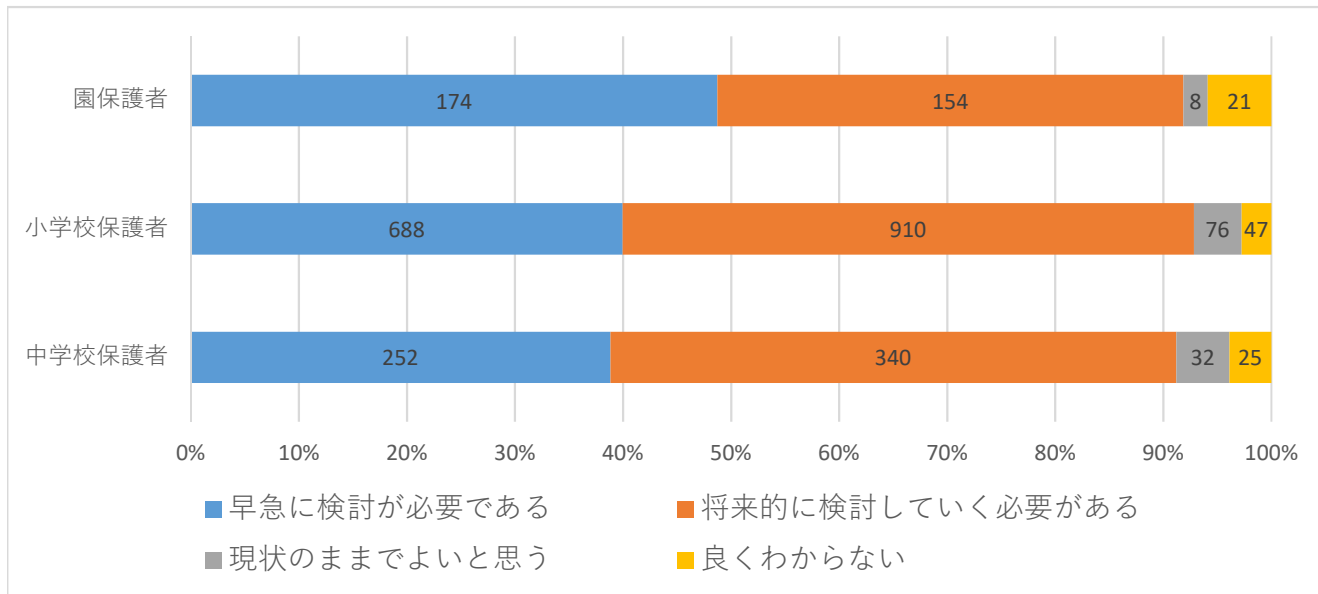
分析 3 : 中学校区別回答



■ 「必要」「どちらかという必要」が約70%を超えているのは、飯田西中学校区、竜東中学校区、遠山中学校区で飯田東中学校区は68%であった。遠山中学校区は「必要」「どちらかという必要」が95%となっている。

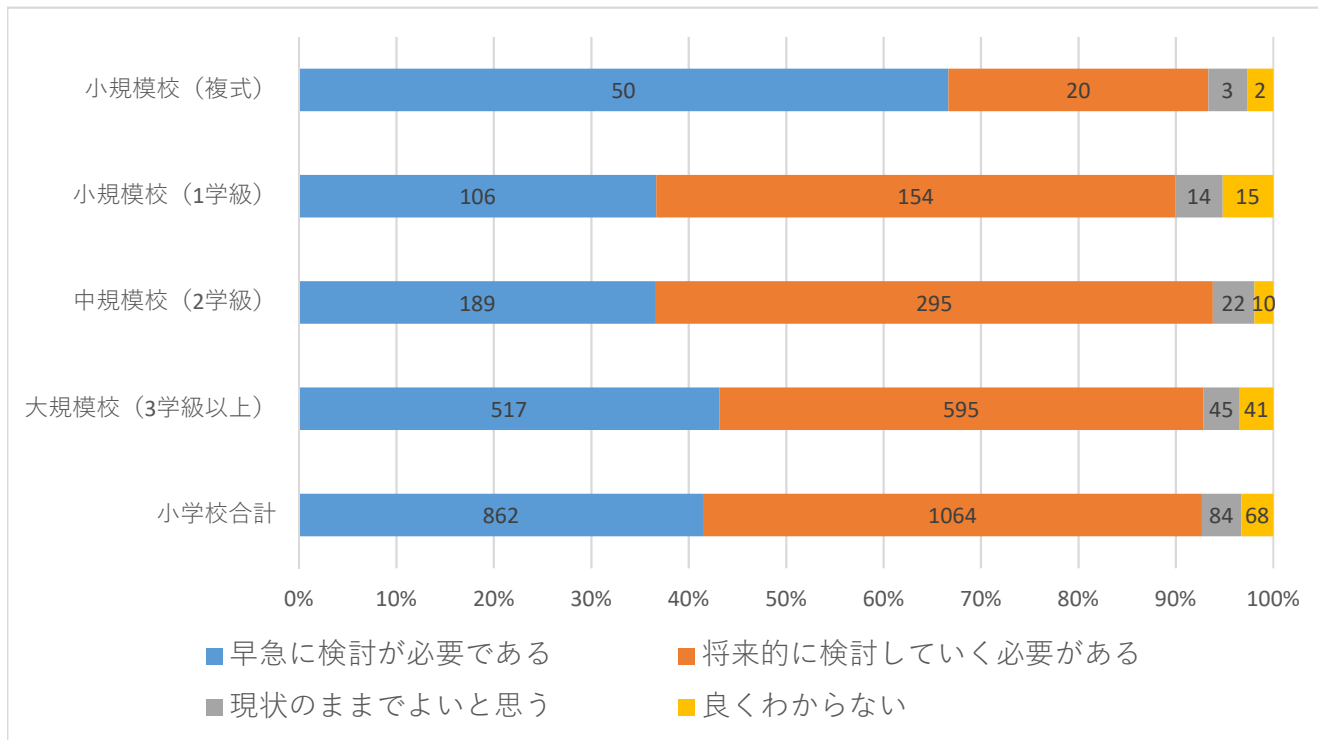
Q8：児童生徒数の減少や校舎の老朽化の進行に対応するため、より良い教育環境づくりの検討が進められていることについてどのように思われますか？

分析1：校種別回答



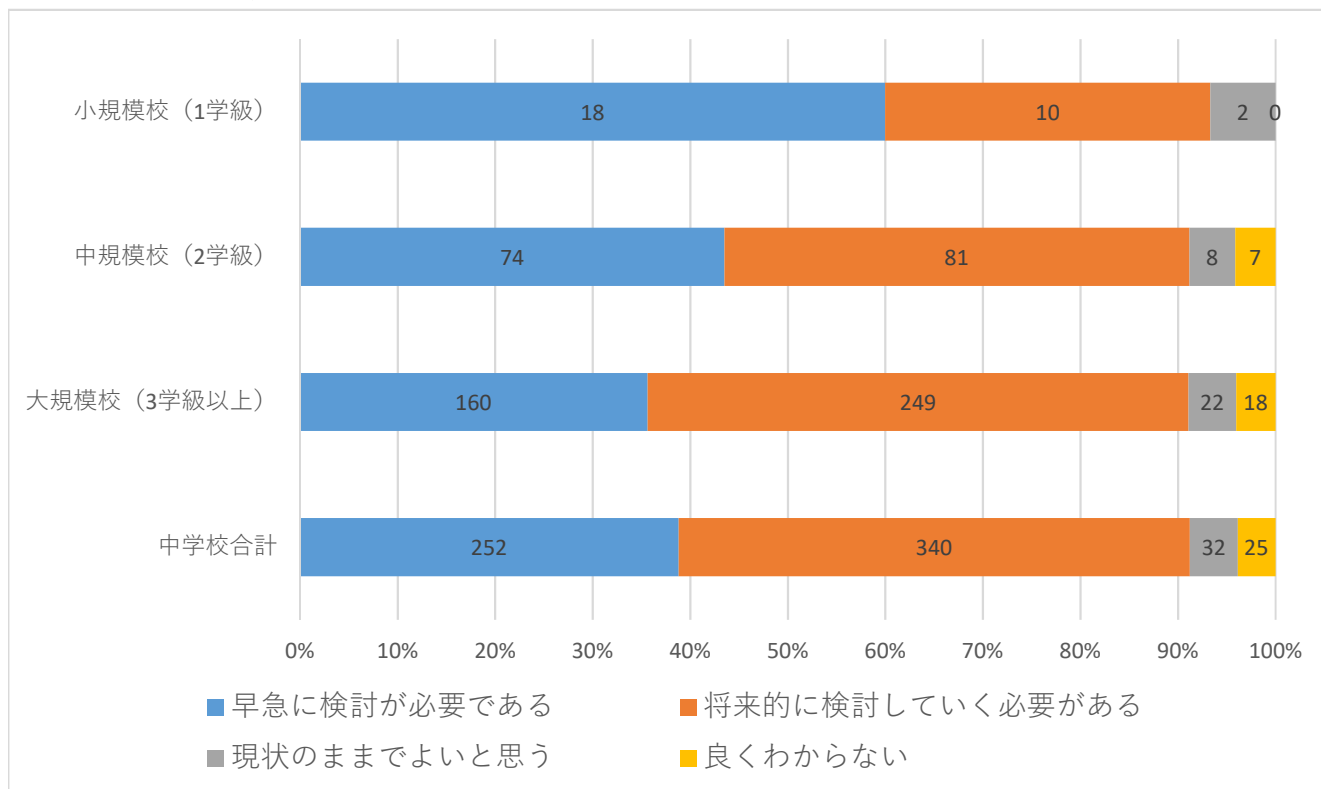
■小学校、中学校とも「将来的に検討が必要である」が50%をやや上回り、「早急に検討が必要である」が40%近くを占めている。園は「早急に検討が必要である」が50%近くを占め「将来的に検討が必要である」が40%近くを占めている。

分析2：小学校規模別回答



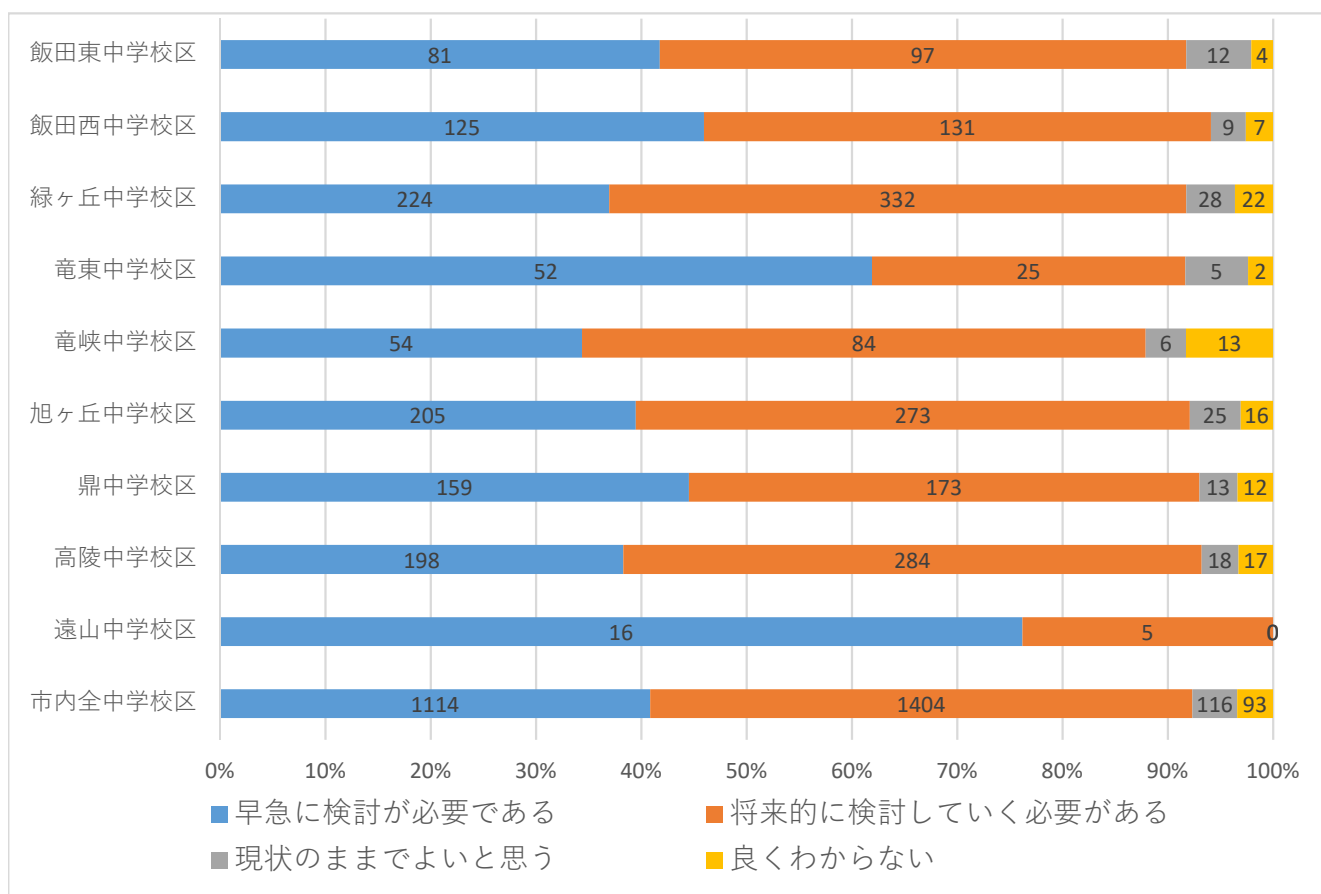
■小規模(複式)では「早急に検討が必要である」が67%を占めている。小規模(1学級)、中規模(2学級)、大規模(3学級以上)の傾向に大きな違いは見られず、「早急に」が40%近く、「将来的に」が50%~55%を占めている。

分析 2 : 中学校規模別回答



■ 小規模校では「早急に検討が必要」が60%、「将来的に検討」が33%を示している。中規模校と大規模校はほぼ同じ傾向を示しているが、中規模校の方が「早急に検討が必要」の比率が高くなっている。

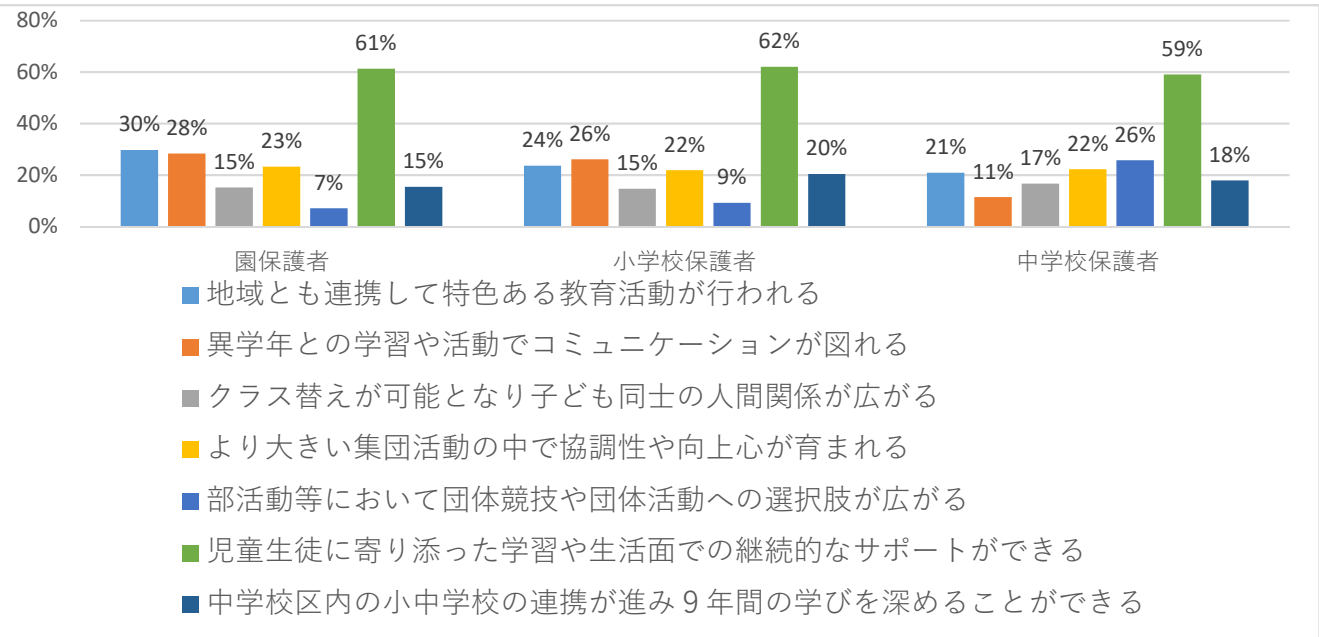
分析 3 : 中学校区別回答



■ 「早急に検討が必要である」の比率が高いのは、遠山中学校区の76%、竜東中学校区の62%である。

Q9：今後に向けて学校に期待したいことは何ですか？（上位2つまで選択可能）

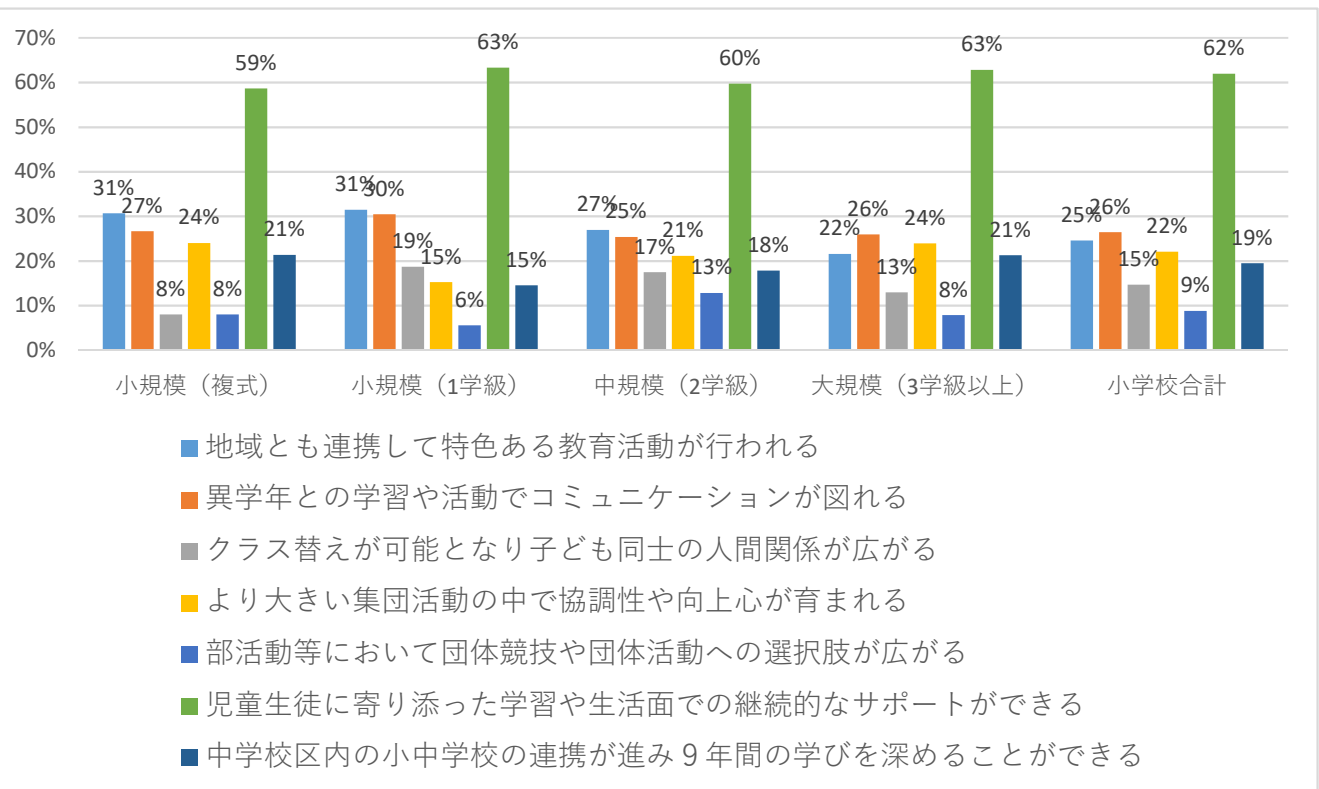
分析1：校種別回答



■いずれも「児童生徒に寄り添った学習や生活面での継続的なサポートができる」が60%近くを占めている。

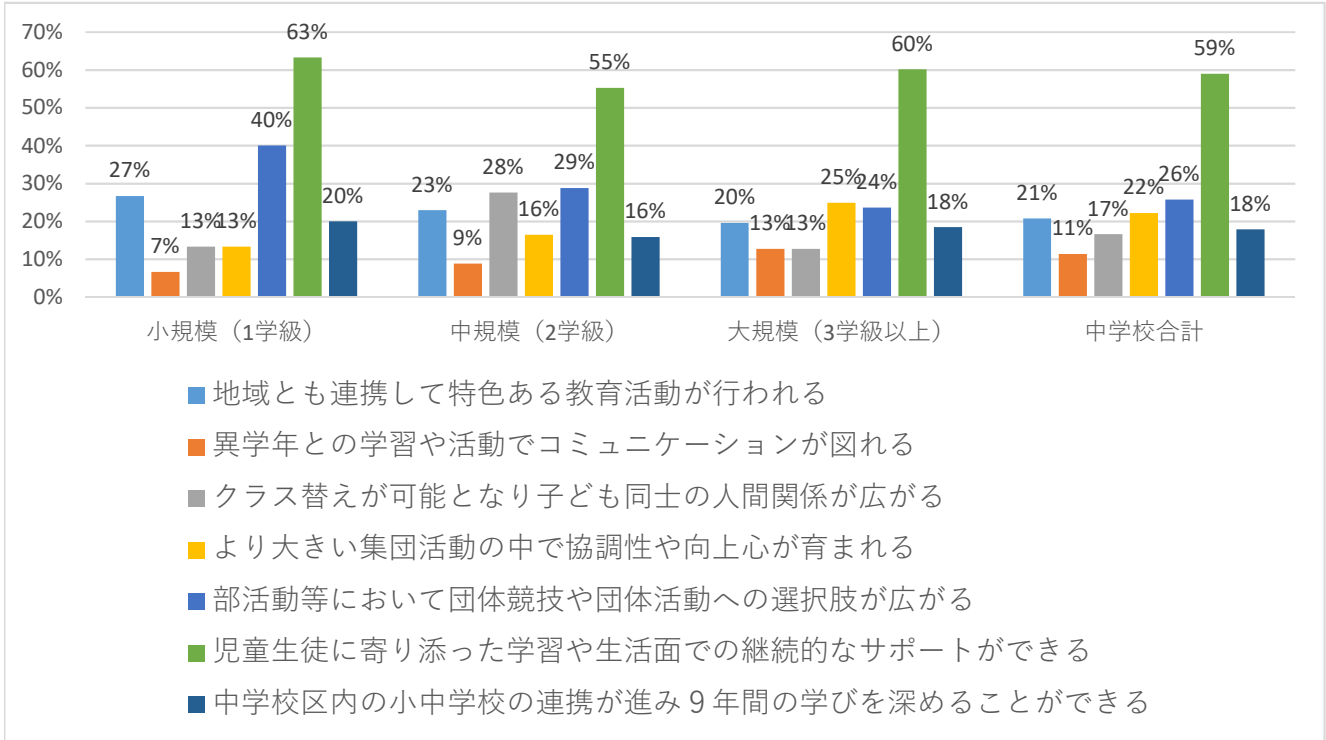
■園と小学校は「地域とも連携して特色ある教育活動が行われる」「異学年との学習や活動でコミュニケーションが図れる」「より大きい集団活動の中で協調性や向上心が育まれる」が30～20%を占めているが、中学校は「部活動等において団体競技や団体活動への選択肢が広がる」が2番目に多く25%程度を占めている。

分析2：小学校規模別回答



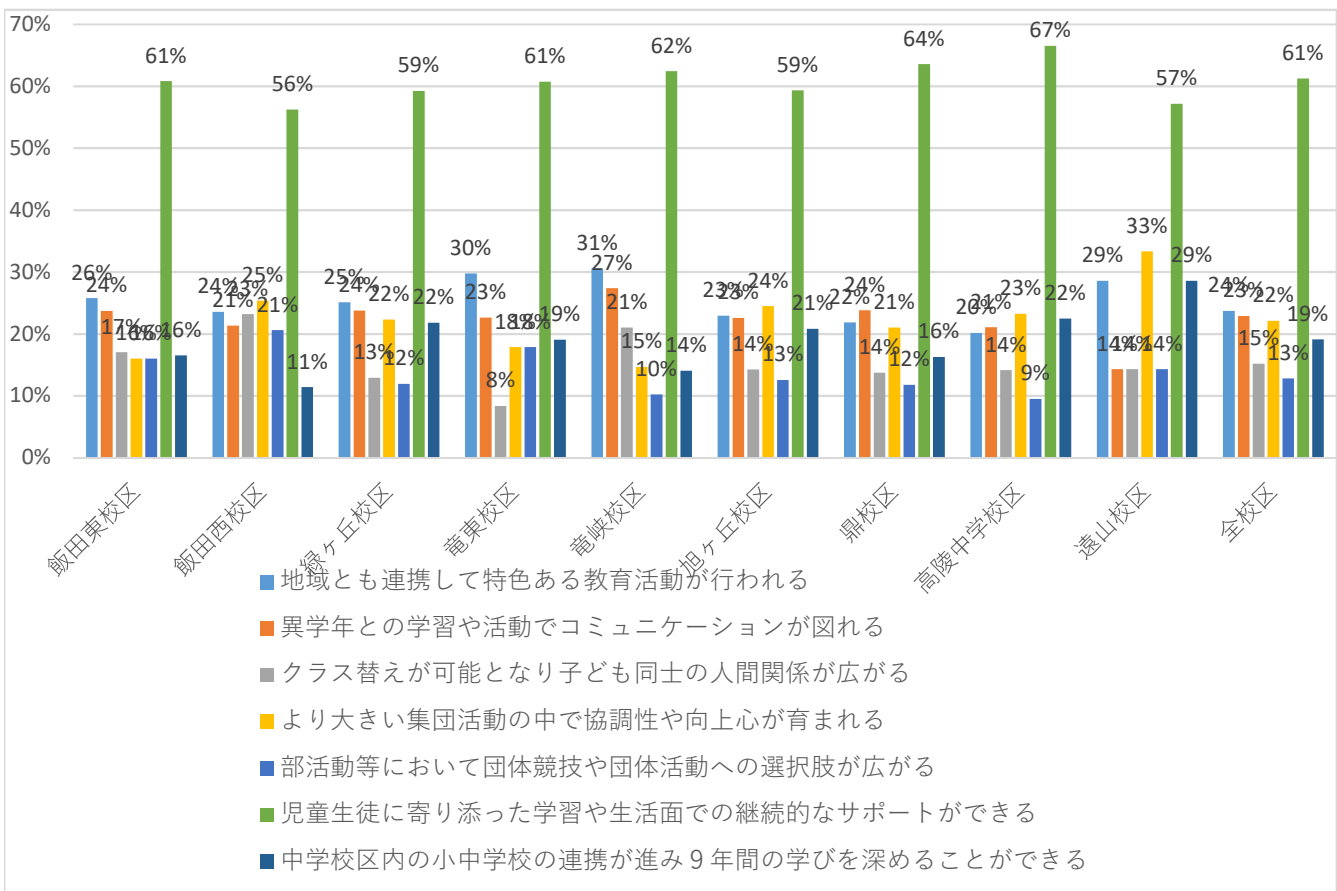
■それぞれの割合に違いは見られるが学校規模による大きな違いは見られず、「児童生徒に寄り添った学習や生活面での継続的なサポートができる」が最も高く、60%程度を占めている。

分析 2 : 中学校規模別回答



- 学校規模が小さくなるにつれて「部活動等において団体競技や団体活動への選択肢が広がる」が占める比率は高くなっている。
- 学校規模が大きくなるにつれて「異学年との学習や活動でコミュニケーションが図れる」「より大きい集団活動の中で協調性や向上心が育まれる」が占める比率は高くなっている。

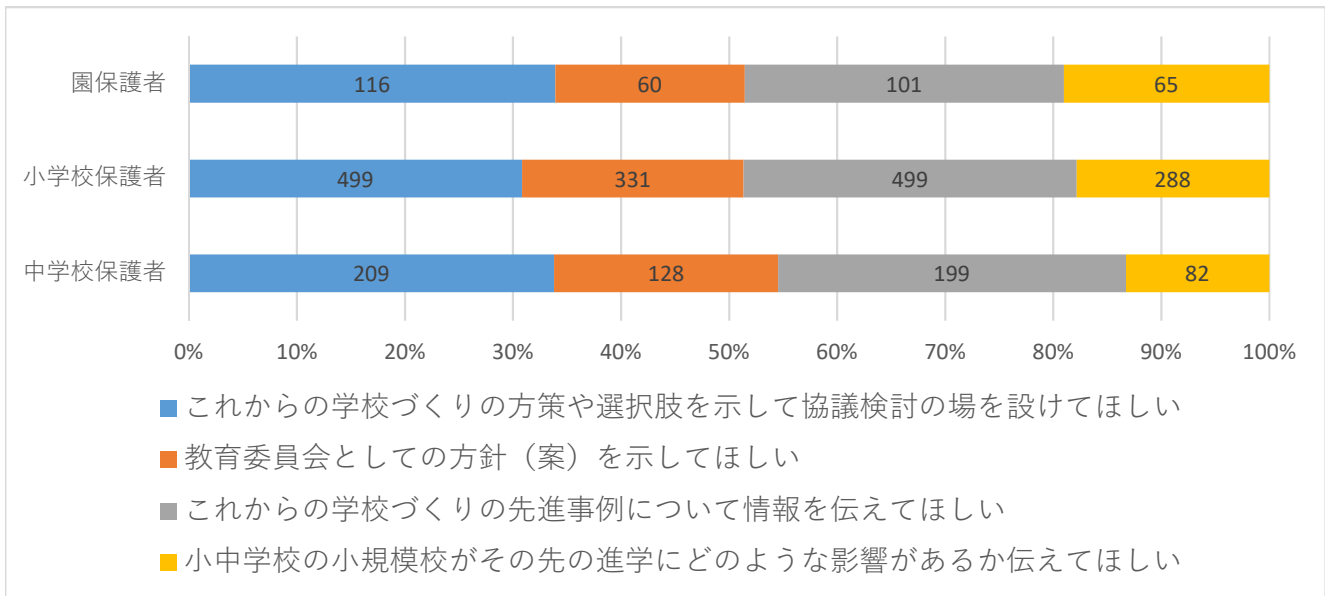
分析 3 : 中学校区別回答



- 各比率に違いはあるが、どの中学校区でも最も高かったのは「児童生徒に寄り添った学習や生活面での継続的なサポートができる」で60%近くを占めている。
- 遠山中学校区では「より大きい集団活動の中で協調性や向上心が生まれる」が高くなっている。

Q10：より良い教育環境づくりに取り組む上で教育委員会に望む事は何ですか？

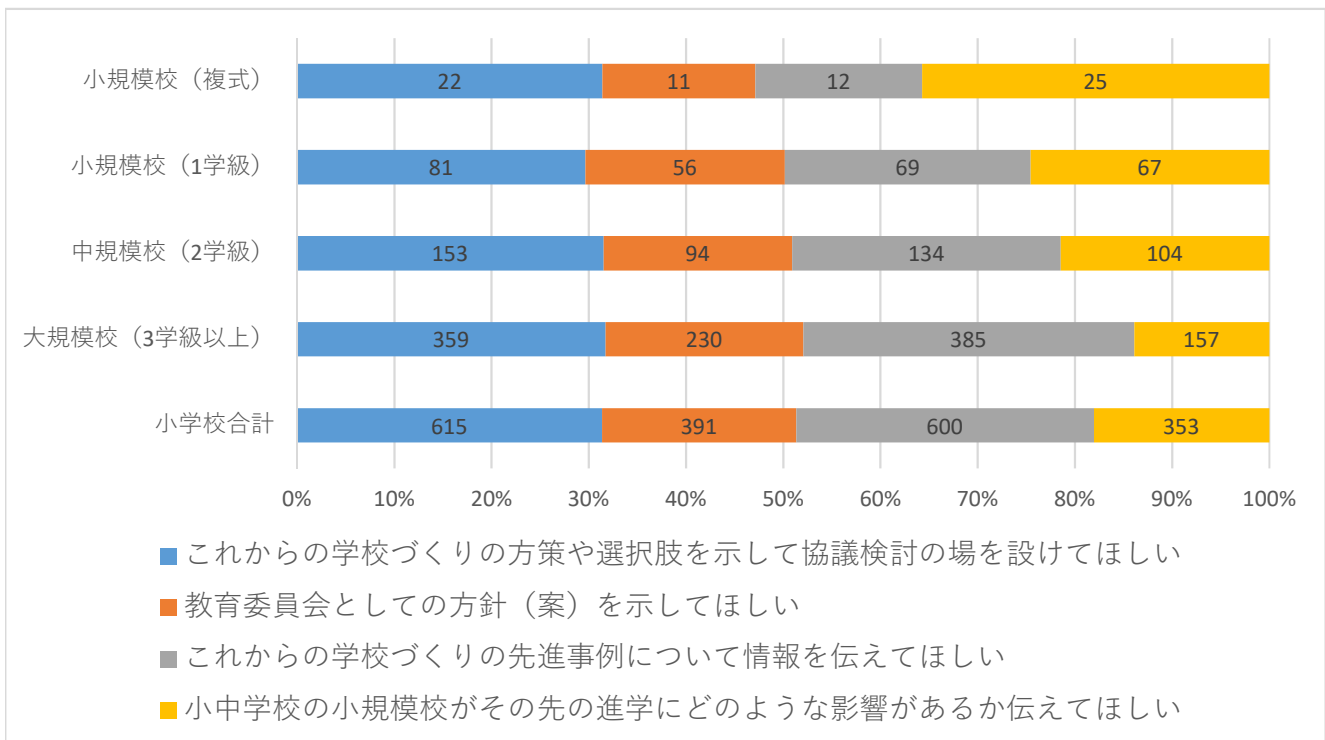
分析 1：校種別回答



■ いずれも「これからの学校づくりの方策や選択肢を示して協議検討の場を設けてほしい」「これからの学校づくりについての先進事例を伝えてほしい」がそれぞれ30%近くを占めている。

■ 「教育委員会としての方針（案）を示してほしい」「小中学校の小規模校がその先の進学にどのような影響があるか伝えてほしい」がそれぞれ20%近くを占めている。

分析 2：小学校規模別回答



■ 小規模（複式）では「小中学校の小規模校がその先の進学にどのような影響があるか伝えてほしい」が36%を占め、学校規模が小さくなるほど高くなっている。

■ 小規模（1学級）と中規模（2学級）はほぼ同じ傾向を示し、大規模（3学級以上）は「これからの学校づくりの先進事例について情報を伝えてほしい」の割合が他の規模に比べて若干高くなっている。

(参考) 保護者アンケート自由記載欄等での意見 (集約)

○特色ある学校づくりについて

- ・地域からも愛着のある現在の学校を、児童数や校舎の老朽化を理由として統合したりせず、できることならば各校やそれぞれの特色をこのまま生かして行ってほしい。(5)
- ・少人数であるという学校の長所を伸ばした学校づくりに期待する。(3)
- ・地域の特色を生かす教育を行えるように研究をしてほしい。(2)
- ・義務教育の中でも学校独自の特性を出して、選べる学校を作って欲しい。
- ・豊かな自然を生かしたフィールドワーク等を取り入れ、魅力的な教育内容が広く認知されれば、子育て世代の移住も期待できる。
- ・少人数学級は自立心が育まれ先生と深いコミュニケーションが取れるので大人数より良いと考える。
- ・人数が多く、違う小学校が3校集まり個性が豊かで多様性に満ちている。
- ・りんご並木の伝統と継承が行われ、他校にはない学校の特色となっている。
- ・支援が必要な児童への対応が手厚いことが特色と感じている。
- ・これからはICT教育が盛んに行われていることも特色の一つではないか。
- ・学校は一人一人を大切に指導してくれている。

○あり方検討の取組みについて

- ・「子どもを真ん中においた」議論は大切なこと。親の都合や今までの歴史ばかりにとらわれずに継続的な議論を願う。(3)
- ・児童の減少がこんなに進んでいることを知らなかった。また、子どもたちに影響があることも深刻に考えていなかったので、情報発信は大切だと思った。(2)
- ・この取組みを進め益々、飯田の子ども、先生が輝いて通える学校を望む。
- ・統合を前提に話をする前に児童が少ない美点を発信し、地域づくりの面で一定数を呼び込む工夫をすべき。
- ・子ども達の安全安心に関わる予算(校舎の老朽化、教員等の増員等)を惜しまず、対応してほしい。
- ・飯田市は学校に対して統合も視野に入れていると感じたが、具体的な統合(案)を考えているのであれば示して欲しい。
- ・少子高齢化で今までの制度を維持できなくなった現状を包み隠さず提示し、真正面から問題に取り組んでほしい。
- ・取組みは良いが対応のスピードが遅いように思う。早急に対応してほしい。
- ・統合により学校がなくなるということは、地域が見捨てられたと感じる。

○あり方検討の今後の進め方について

- ・新しい学校づくりについての方向性や、メリット・デメリットなど、もっと詳しく知りたいので、地域ごとに説明会を設けてほしい。(4)
- ・「飯田市の街づくり」を見据えながら、そこに暮らす「こどもを真ん中においた」議論を進めてほしい。(2)
- ・検討の主軸は、これからの社会を担う子どもたちが、知性、感性、身体性を養っていける教育の場とするための、教育理念の検討を深めるようにしてほしい。
- ・学校の統合は、多数決で決められる事柄ではないので、具体的な選択肢を示した上で当事者の意見を広く掬い上げて、現実的で有効性のある検討をしてほしい。
- ・学校により 1 学級の人数やクラス数に差があり、不公平感を感じることもある。子供達が出来るだけ平等な環境で学ぶことができるよう、早急に改革を進めてほしい。
- ・今後リニア開通により地区の人口変化など大きな構造変化の可能性もあるため、学校の位置、建て替えの有無、学区の見直しといった大きな観点での議論も必要だと感じる。
- ・教育委員会だけが舵取りをするのではなく、各学校それぞれがもっと自由に教育現場を変えていく環境が理想だと思う。
- ・老朽化や少子化に対する具体的な案が知りたい。古い考えを打破する案が出てから本格的に議論できそうな雰囲気を感じている。
- ・今後は地域も巻き込み先生方の負担を減らして行く方向へ進んで行くと思う。
- ・地方都市在住であっても自らの未来が見通せる教育を求める。

○これからの学校に期待することについて

- ・少子化が進む中で居住区の学区で学校を区切るより、小中学校も選べる時代になると良い。(4)
- ・飯田市街地の小中学校を文化会館の建て替えとも一緒に、飯田市の文化、芸術を継承していく場として、統合、併設を検討し新たな教育の場を作っていけると良い。
- ・義務教育の中でも学校独自の特性を出して、選べる学校を作してほしい。
- ・リニア時代となれば教育・学力に力を入れた小中高一貫校があってほしい。
- ・新しい時代に合った新しい教育を望む。これからは多様化の時代でありクラスにいる様々なタイプの子どものそれぞれの能力をいかに伸ばしていくか。
- ・一辺倒の教育ではなく子どもの特性に合ったクラス（小学校）の創設を希望する。
- ・他校の生徒との学びを深めたり、関係を築く機会が多く持てることに期待する。
- ・小中学校の連携も必要だが、保育園との連携や活動や行事が増えたら良いと思う。
- ・勉強だけでなく、心も体も成長できる学校整備をお願いしたい。

○これからの学校の配置・枠組みについて

- ・小学校・中学校を統合し、9年間の学びにするという考え方は新鮮。9年間で有意義に伸び伸び過ごし、自分の能力や個性を發揮し、自信を持てるようなカリキュラムに期待。(2)
- ・小中一貫校は興味がある。通学圏内にあれば考えたい。(2)
- ・義務教育学校はとても良いと感じた。4-3-2制など発達段階で変えるのは良いと思う。(2)
- ・小中一貫学校や義務教育学校のような形式になると子供同士がよりコミュニケーションが取れて良いと思う。
- ・児童数の減少→統廃合が当然の流れにならないように。小中連携・一貫教育は大いに賛成。
- ・小中一貫校や義務教育学校に変えていくことは賛成だが、短所があるなら見直して進めていくべきだと思う。(2)
- ・リニアも通るので、近隣等他地域からも来たいと思えるような、教育に力を入れた高度な小中高一貫校があってほしい。
- ・単級では交友が広がらず競争力が高まらないといったデメリットがあるのでクラス替えができるくらいの人数を希望する。
- ・やはり建て替えなどの検討は必要だと思う。小学校と中学校の垣根を超えての取り組みは他の地域の学校もやっていくと良いと思う。
- ・施設の老朽化の状況を考えると上村小学校の校舎で小中一貫校のような形が理想的だと考える。
- ・丘の上の小学3校、中学2校を1か所に集めて小中一貫の実験的教育を進めるのも一案。価値ある建築物を市民に開き利用価値の向上にもつながる可能性がある。
- ・竜峡中学校の老朽化対策の整備に際して、小中一貫校にできたら良いと考えた。加えて自治振興センター・公民館の併設による地域に根ざした教育機関の整備を希望する。

○学校の統廃合について

- ・統合により通学に負担が増えるのであればスクールバス、公共バスの増便などを検討した上で学校の統合を進めるべき。(5)
- ・今後学校の統廃合がされた場合の通学手段をどのように確保するのか気になる。(3)
- ・まちづくりの観点から小中学校が地区内にあることは確かに大切なことだが、もっと大きな視野で子どもの将来を最優先に考えてほしい。(3)
- ・統廃合は教員数を確保する等の視点からも進めていくべき課題だと思う。意見交換の場を早くから設け、地域の方々がみんな新しい学校の在り方を考えて、自分たちの手で新しい学校を作った、と納得し、地域に根差し地域から愛される学校作りができるといいと思う。(3)
- ・地域の方の思いよりも子どもを今育てている保護者の意見を尊重してほしい。
- ・入学数が激減していく学校は、統合もやむを得ないと思います。
- ・少子化が進む中、将来的には小学校同士の統合も必要かとも思いますが、子どもが自分で歩いて通える範囲に学校があることも、子ども達の身体的な発達にはとても大切だと思う。
- ・中学は部活の問題もあり、学校の合併など進めて学力向上とさまざまな活動の充実に向けて早急に検討してほしい。
- ・追手町小と浜井場小の統合。その先に東中と西中の統合が段階的に検討される事と思うが、地域住人のこだわりより子どもたちのより良い教育環境を優先して統合が進む事を期待する。

○意向調査（アンケート）について

- ・アンケートを定期的に行うことは保護者の意見を聞ける機会なのでまた実施してほしい。(4)
- ・このようなアンケートなどを実施するとみんなは意識出来ると思う。(3)
- ・子どもたちを真ん中におくということで、子どもたちの意見も知りたい。大人と子ども当事者たちの考えを反映させる事も大事だと思う。大人の事情を真ん中に置く事ではない取り組みを願う。(3)
- ・これからの学校づくりの方向性を決める際に、その学校の保護者の意見を聞く場を頻繁に設けていただき、多くの人が納得できるような形にしてほしい。(2)
- ・年配の人の意見に強く左右されず、そこに通う子供や子育てする世代のための学校であってほしい。

○その他

- ・このような活動が行われている事を今回初めて知った。現状を知ることができ、ぜひ検討を続けて頂きたいと思った。(4)
- ・自分から進んで知るという事をしなかったので、学校を考える良い機会になった。これからも情報の発信をしていただけると有難い。
- ・飯田市の学校を取り巻く現状を知ることが出来た。こんなに少子化と校舎老朽化が進んでいたとは…未来の姿を見据えた取り組みを我が子孫が困らないように考える必要があると感じた。
- ・子供が毎年100人以上減っている事をアンケートで知った。
- ・情報紙には小中一貫、義務教育学校を例としてあげられていましたがメリットだけではなくデメリット等、懸念する事柄も掲載してあると思慮しやすくアンケートにも答えられやすい材料となる。
- ・飯田市の学校や歴史を守るために少人数クラスなのに学校を残すのはおかしいと思う。
- ・市街から離れた場所などは極端に児童数の減少等で課題があるが、その環境も事前に親の考えがあった上で、選択している事もあると思う。
- ・児童生徒数が減少すると、学校の環境整備も行き届かなくなり、PTA活動への参加がほぼ必須になり大変。
- ・ひとり一人の個性を認めて寄り添って指導して下さる様子は、小規模校だからこそ、有り難く感じている。
- ・飯田コミュニティースクールで、地域住民が積極的に学校の活動を支援し協働していく飯田ならではの学校の仕組みは、学校の主体性を地域住民の意見により減退させているように思う。
- ・部活動を学校から切り離し、地域に委託することなどと同時に考えて行かないと、これからの義務教育は成立しない。先送りではなく今から取り組んで行かないと。
- ・とにかく失敗する事は悪い事じゃないって雰囲気教育委員会も学校も保護者も生徒も感じてチャレンジしてほしい。